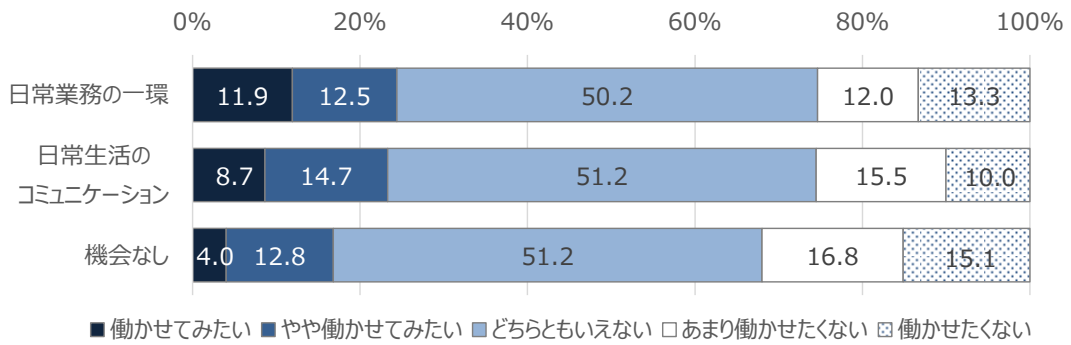
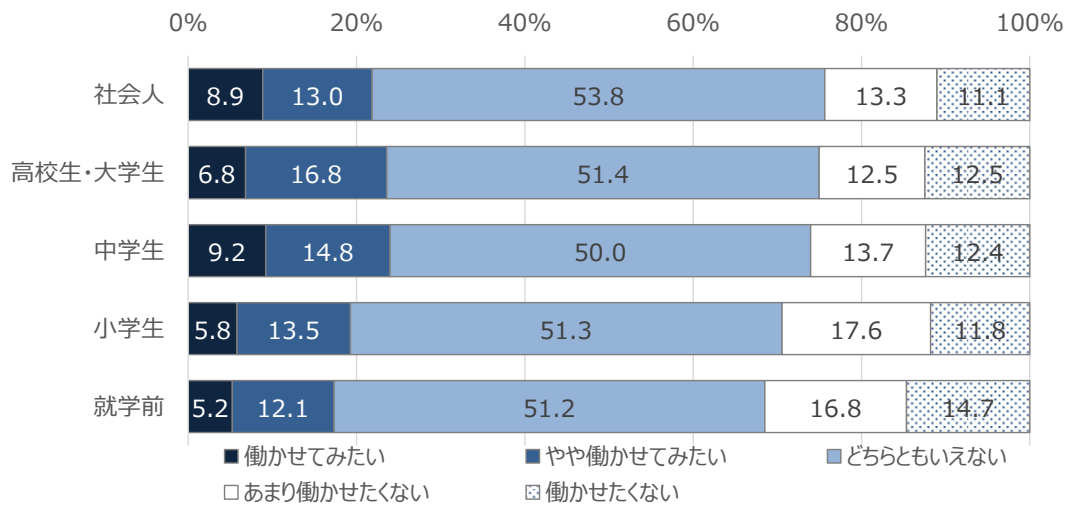


図表 3-3-5 観光産業に対する就業推奨意向（観光客と接する機会別）



図表 3-3-6 観光産業に対する就業推奨意向（子どものライフステージ別）



図表 3-3-7 就業推奨意向別にみた観光産業のイメージ

	働かせてみたい層 (%)			働かせたくない層 (%)		
	働かせてみたい層	どちらともいえない	働かせたくない層	働かせてみたい層	どちらともいえない	働かせたくない層
休みが取りにくい	43.1	57.0	63.2	4.4	3.0	5.5
経営が不安定	17.3	27.8	42.7	26.1	16.2	10.1
離職者が多い	19.2	27.5	44.5	16.6	7.9	6.0
残業が多い	23.3	34.5	39.7	1.0	0.4	7.4
体力的な負担が多い	20.5	30.7	45.9	17.5	9.5	6.2
労働環境が良くない	15.3	23.0	35.8	15.9	5.1	3.7
給与、待遇が悪そう	14.0	28.7	44.1	18.2	7.9	6.1
福利厚生が不十分	7.1	12.3	21.4	0.3	0.8	4.6
業界に対する社会的評価が低い	8.0	10.1	23.0	2.0	0.3	2.2
社会に貢献している	26.9	17.7	13.2	13.6	4.8	3.8
仕事を通じて成長できそう	54.7	40.2	19.6	6.8	1.2	0.6
優秀な人材が少ない	5.8	7.1	16.9	3.7	1.1	1.5
会社の規模が小さい	3.7	4.1	10.3	4.4	2.3	0.6
仕事内容が面白そう	51.6	34.3	13.9	0.0	0.5	2.3
業界に将来性がない	1.6	2.6	11.4	8.4	3.2	1.9
規模が大きい会社が多い	22.8	12.8	9.2	4.6	1.7	0.5
わからない/あてはまるものがない	2.5	4.7	2.4	5.1	2.2	1.6

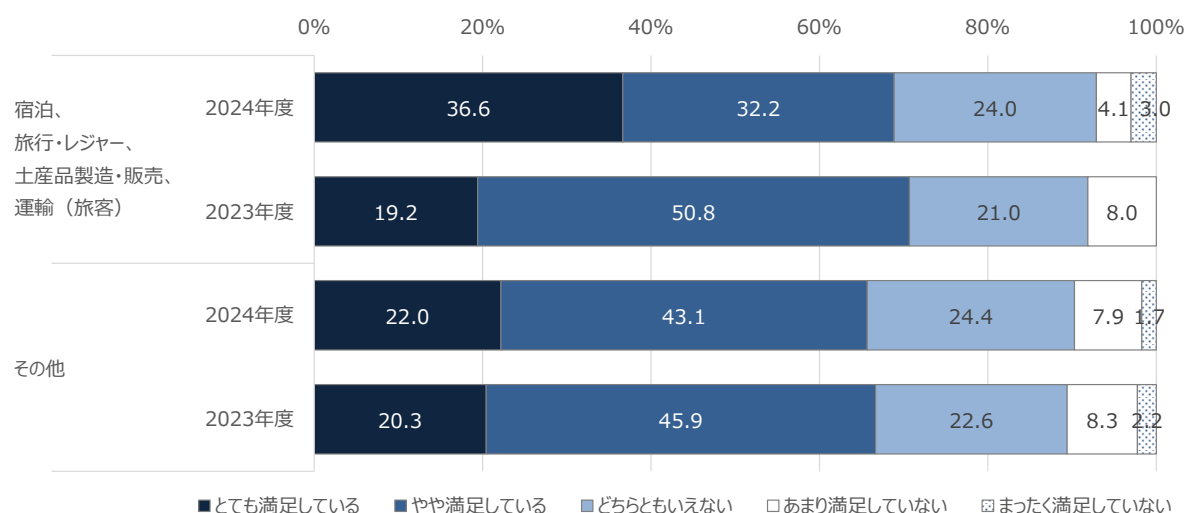
※1：子どものライフステージは複数回答。

(4) 観光産業従事者の職業満足度

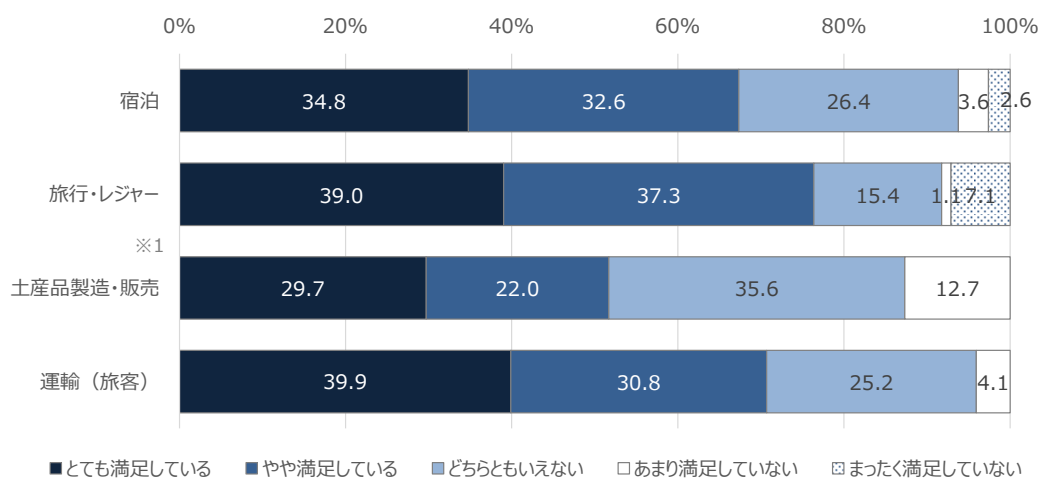
F7 現在お勤めの職業について、やりがいを感じ満足していますか。

- 観光産業従事者（宿泊、旅行・レジャー、土産品製造・販売、運輸（旅客））の職業に対する満足度は、「とても満足している」「やや満足している」を合わせると68.8%となった。
- 観光産業以外（その他）の産業従事者と比べると、観光産業従事者は「とても満足している」が高く、前年よりも増加している。
- 職業別では、宿泊、旅行・レジャー、運輸（旅客）で「とても満足している」が高い。

図表 3-4-1 現在勤めている職業に対する満足度（観光産業と観光産業以外）



図表 3-4-2 現在勤めている職業に対する満足度（職業別）



※1：“土産品製造・販売”は回答数が少ないため注意。

4. 観光施策の重要度・達成度

本項では、沖縄観光の施策に関する42個の項目について、それぞれ重要と考える程度及び達成できていると考える程度を調査し、県民にとっての沖縄観光施策の重要度と達成度を整理した。

(1) 沖縄観光の各施策に対する重要度

Q4 ① 次にあげる事項は、沖縄の観光にとって重要だと思いますか。

- “非常に重要である”と回答した割合の上位5項目は、「県民や観光客が渋滞に巻き込まれずに目的地まで円滑に移動できること(65.2%)」、「観光客が、不慣れた道路環境等の理由によるレンタカーでの交通事故発生等のトラブル防止の対策がとられていること(58.6%)」、「沖縄の豊かな自然環境に配慮し、環境と共生した持続可能な観光が推進されていること(56.8%)」、「空港機能が強化されることにより、国内外の航空路線の拡充が行われ、県民や観光客の交通の便が良くなること(54.4%)」、「高齢であることや障害の有無などにかかわらず、県民、観光客誰もが快適に過ごせる環境が整っていること(54.3%)」であった。
- 前回調査と比べると、上位5つの項目に変動はない。
- 地域別にみると、“北部”“中部”“那覇市”“南部”では「円滑な移動」、「宮古」“八重山”では「交通事故発生等のトラブル防止対策」が1位となった。各地域の上位5項目は以下の通り。

	北部	中部	那覇市	南部	宮古	八重山
1位	・円滑な移動(第1位)	・円滑な移動(第1位)	・円滑な移動(第1位)	・円滑な移動(第1位)	・交通事故等のトラブル防止対策(第1位)	・交通事故等のトラブル防止対策(第1位)
2位	・誰もが快適に過ごせる環境整備(第3位)	・交通事故等のトラブル防止対策(第3位)	・環境と共生した持続可能な観光(第2位)	・交通事故等のトラブル防止対策(第2位)	・環境と共生した持続可能な観光(第5位)	・環境と共生した持続可能な観光(第2位)
3位	・交通事故等のトラブル防止対策(第2位)	・環境と共生した持続可能な観光(第5位)	・交通事故等のトラブル防止対策(第4位)	・誰もが快適に過ごせる環境整備(第4位)	・円滑な移動(第2位)	・沖縄文化の保全・継承・活用(第10位)
4位	・環境と共生した持続可能な観光(第11位)	・誰もが快適に過ごせる環境整備(第4位)	・沖縄文化の保全・継承・活用(第5位)	・交通利便性の向上(第5位)	・沖縄らしい景観形成(第9位)	・誰もが快適に過ごせる環境整備(第3位)
5位	・沖縄文化の保全・継承・活用(第9位)	・交通利便性の向上(第2位)	・交通利便性の向上(第6位)	・沖縄文化の保全・継承・活用(第9位)	・風評被害対策(第6位)	・交通利便性の向上(第6位)

※1：括弧内は前回調査の順位

- 性別でみると、男女間で重要視する項目は大きくは変わらないものの、項目によっては選択率に差がみられ、「誰もが快適に過ごせる環境整備」「沖縄文化の保全・継承・活用」「風評被害対策」は“女性”のほうが10ポイント近く高い。
- 年代別にみると、10代では「交通事故等のトラブル防止対策」、20代～70代では「円滑な移動」が1位となった。各年代の上位3項目は以下の通り。

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代
1位	・交通事故等のトラブル防止対策	・円滑な移動	・円滑な移動	・円滑な移動	・円滑な移動	・円滑な移動	・円滑な移動
2位	・誰もが快適に過ごせる環境整備	・交通事故等のトラブル防止対策	・交通事故等のトラブル防止対策	・環境と共生した持続可能な観光	・環境と共生した持続可能な観光	・誰もが快適に過ごせる環境整備	・交通利便性の向上
3位	・沖縄らしい景観形成	・消費しやすい環境整備	・環境と共生した持続可能な観光	・交通事故等のトラブル防止対策	・交通利便性の向上	・交通事故等のトラブル防止対策	・沖縄独自の商品・サービス

- 観光客と接する機会別では、上位項目の傾向に大きな違いはみられないが、全体的に「機会なし」は低い傾向にある。

図表 4-1-1 沖縄観光の各施策に対する重要度

	重要度 (%)							重要度 得点
	非常に 重要	ある程度 重要	どちらとも いえない	あまり 重要で ない	全く 重要で ない	無回答		
15 県民や観光客が渋滞に巻き込まれずに目的地まで円滑に移動できること	65.2	25.5	6.9	0.9	0.4	0.9	4.56	
16 観光客が、不慣れな道路環境等の理由によるレンタカーでの交通事故発生等のトラブル防止の対策がとられていること	58.6	25.2	13.3	1.3	0.4	1.3	4.42	
1 沖縄の豊かな自然環境に配慮し、環境と共生した持続可能な観光が推進されていること	56.8	31.2	9.9	0.9	0.3	1.0	4.45	
11 空港機能が強化されることにより、国内外の航空路線の拡充が行われ、県民や観光客の交通の便が良くなること	54.4	31.4	10.3	2.2	1.0	0.8	4.37	
25 高齢であることや障害の有無などにかかわらず、県民、観光客誰もが快適に過ごせる環境が整っていること	54.3	30.9	12.0	1.5	0.6	0.7	4.38	
2 文化・芸能・世界遺産などの魅力ある沖縄文化が、保全・継承され、観光資源として広く活用されていること	54.2	35.5	8.1	0.8	0.5	0.9	4.43	
26 地震、津波等大規模災害や根拠の乏しい情報を起因とする風評被害への対応方針が整っていること	49.6	28.2	18.9	1.6	0.8	0.9	4.25	
27 観光客の県内消費額を向上するため、沖縄独自の魅力を活かした商品・サービスが増えること	49.4	37.9	10.2	1.2	0.7	0.7	4.35	
4 県内各地域の特性を踏まえた沖縄らしい風景や町並みが適切に保全され、良好な景観が形成されていること	49.2	35.6	12.7	1.4	0.3	0.9	4.33	
17 観光情報を手でできる観光案内所や観光案内板等が多言語対応で整備されていること	47.6	36.5	12.2	2.0	0.7	1.0	4.29	
14 決済手段が多様で、観光客が消費しやすい環境が整備されていること（クレジットカード決済、モバイル決済等）	45.4	36.1	14.5	2.3	0.8	0.9	4.24	
30 年間を通して観光収入を安定的に確保するため、閑散期の誘客に取り組むこと	41.1	39.2	13.9	4.0	0.9	0.9	4.16	
5 温暖な気候等を活かして、野球やサッカーなど各種キャンプ・大会が盛んに行われていること	41.0	42.5	11.2	3.4	1.1	0.8	4.20	
23 今後の沖縄観光の持続的な振興を担う高度な経営人材を育成し、多様化・高度化する観光客のニーズに対応できていること	40.4	38.5	17.0	2.3	0.6	1.1	4.17	
28 外国人観光客の県内消費額を向上するため、日本ブランドの魅力を活かした商品・サービスが増えること	40.0	38.3	17.4	2.5	1.1	0.7	4.15	
40 観光産業がもたらす県経済への波及効果などを県民にわかり易く発信し、観光の意義や効果について県民の理解を促進すること	38.5	40.9	16.2	2.5	0.9	0.9	4.15	
18 観光客が無料Wi-Fiに接続出来る環境があること	37.4	35.6	19.3	4.6	2.2	0.9	4.02	
24 県民がホスピタリティ（人への直接的なもてなしの精神のみならず、町の清掃活動等も含む）にあふれていること	36.0	39.9	19.4	2.9	1.0	0.8	4.08	
21 外国人観光客への対応能力を向上するため、外国語に長けた人材や語学力など専門的な知識や技術を有する外国人が観光産業に従事していること	35.8	41.2	17.9	3.0	1.3	0.9	4.08	
7 国内外の学生、生徒、教育関係者などが教育旅行で沖縄を訪れていること	35.7	42.2	17.3	3.1	0.8	0.9	4.10	
8 ウェディング、ショッピング、ダイビング、健康保養、卒業記念等、多種多様な目的も兼ねながら観光客が沖縄を訪れていること	35.5	44.0	16.2	2.7	0.8	0.9	4.12	
41 次世代を担う県内の児童生徒に対し観光産業の重要性について理解を深めること	34.9	40.2	19.7	3.3	1.0	0.9	4.06	
6 サッカーやバスケットボールなどの地元チームを活用し、県民と観光客が一体となって楽しんでいること	34.7	38.4	19.6	4.9	1.5	0.9	4.01	
13 クルーズ船の寄港先が分散され、バス、タクシー等が一部地域に集中することによる負荷の低減や、観光地の分散化等が図られていること	34.4	34.9	24.4	3.9	1.5	1.0	3.98	
22 観光従事者一人ひとりが沖縄観光を代表する存在として、観光客に責任を持って対応できていること	34.3	39.4	21.3	3.1	1.0	1.0	4.04	
31 沖縄観光の高度化、国際化等の変化に対応するため、これまで以上にきめ細かいデータの収集と分析について取り組むこと	34.1	39.7	21.6	2.7	1.0	0.9	4.04	
3 「空手発祥の地・沖縄」を世界に発信し、世界中の空手愛好家が沖縄を訪れていること	33.5	39.0	20.4	5.1	1.2	0.7	3.99	
32 国内の沖縄旅行未経験者の誘客に取り組むこと	33.5	37.8	22.2	4.7	1.1	0.7	3.98	
10 各地域において、その地域の特徴を活かした観光誘客活動が行われていること	32.5	42.4	20.6	2.8	0.8	0.9	4.04	
19 県内離島への観光が促進されていること	32.4	42.4	20.1	3.0	1.1	1.0	4.03	
20 宿泊施設について客室単価の向上を図りながら、沖縄全体の宿泊供給量が増加していくこと	31.3	40.7	21.8	3.9	1.3	0.9	3.98	
33 国内外の富裕層の誘客に取り組むこと	30.8	33.6	24.6	7.1	2.9	1.0	3.83	
29 観光客の県内消費額を向上するため、滞在日数が向上するような取組を実施すること	30.5	41.7	21.4	4.4	1.1	0.9	3.97	
39 観光関係者間、地域間、他分野間などの協働の場づくりを推進すること	30.3	42.7	22.7	2.2	1.2	0.9	3.99	
37 沖縄の優位性を活かし、競合地との差別化を図るため、沖縄観光ブランド「Be.Okinawa」を国内外に発信すること	30.2	36.8	26.1	3.6	2.5	0.8	3.89	
38 海外市場において効果的な誘客活動を行うため、海外メディアやウェブサイト・SNS等を通じた情報発信、ロケ作品を通じたプロモーション、海外事務所と連携した誘客活動等に取り組むこと	29.1	36.8	26.5	4.0	2.3	1.3	3.88	
9 MICEを国内外から呼び込み、多くの方が沖縄を訪れていること	27.2	40.7	26.5	3.6	1.1	0.9	3.90	
42 入域観光客数の目標設定など、客観指標に基づいた政策決定が行われていること	26.7	38.5	28.6	3.5	1.7	1.0	3.86	
12 クルーズ船の寄港に対応する港湾施設の機能が強化され、クルーズ船による観光客が更に増えること	26.6	34.9	26.9	7.8	2.7	0.9	3.76	
34 直行便が就航している東アジア地域（台湾、韓国、中国本土、香港）の誘客を拡大すること	25.3	33.8	27.1	8.3	4.5	1.0	3.68	
36 旅行市場が成熟し長期滞在が期待できる欧米等のリゾート需要を取り込むこと	25.0	33.6	30.8	7.1	2.4	1.1	3.73	
35 一部直行便が就航した東南アジア地域（タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム等）からの航空路線の安定化と拡充に積極的に取り組み、誘客を強化すること	23.5	34.3	30.3	7.8	3.3	0.9	3.68	

※重要度得点：「非常に重要である」＝5点、「ある程度重要である」＝4点、「どちらともいえない」＝3点、「あまり重要でない」＝2点、「全く重要でない」＝1点とした場合の平均得点。

図表 4-1-2 沖縄観光の各施策に対する“非常に重要”率（年度別）

		(%)			
		全体	2024年度	2023年度	2022年度
15	県民や観光客が渋滞に巻き込まれずに目的地まで円滑に移動できること	65.2	65.2	63.5	56.3
16	観光客が、不慣れな道路環境等の理由によるレンタカーでの交通事故発生等のトラブル防止の対策がとられていること	58.6	58.6	58.9	49.1
1	沖縄の豊かな自然環境に配慮し、環境と共生した持続可能な観光が推進されていること	56.8	56.8	55.7	53.5
11	空港機能が強化されることにより、国内外の航空路線の拡充が行われ、県民や観光客の交通の便が良くなること	54.4	54.4	56.2	46.5
25	高齢であることや障害の有無などにかかわらず、県民、観光客誰もが快適に過ごせる環境が整っていること	54.3	54.3	57.2	45.5
2	文化・芸能・世界遺産などの魅力ある沖縄文化が、保全・継承され、観光資源として広く活用されていること	54.2	54.2	53.3	47.0
26	地震、津波等大規模災害や根拠の乏しい情報を起因とする風評被害への対応方針が整っていること	49.6	49.6	52.1	41.9
27	観光客の県内消費額を向上するため、沖縄独自の魅力を活かした商品・サービスが増えること	49.4	49.4	50.8	41.7
4	県内各地域の特性を踏まえた沖縄らしい風景や町並みが適切に保全され、良好な景観が形成されていること	49.2	49.2	47.9	46.3
17	観光情報を入手できる観光案内所や観光案内板等が多言語対応で整備されていること	47.6	47.6	51.3	39.7
14	決済手段が多様で、観光客が消費しやすい環境が整備されていること（クレジットカード決済、モバイル決済等）	45.4	45.4	47.4	42.0
30	年間を通して観光収入を安定的に確保するため、閑散期の誘客に取り組むこと	41.1	41.1	41.6	38.8
5	温暖な気候等を活かして、野球やサッカーなど各種キャンプ・大会が盛んに行われていること	41.0	41.0	42.3	35.2
23	今後の沖縄観光の持続的な振興を担う高度な経営人材を育成し、多様化・高度化する観光客のニーズに対応できていること	40.4	40.4	39.6	34.3
28	外国人観光客の県内消費額を向上するため、日本ブランドの魅力を活かした商品・サービスが増えること	40.0	40.0	40.8	34.8
40	観光産業がもたらす県経済への波及効果などを県民にわかり易く発信し、観光の意義や効果について県民の理解を促進すること	38.5	38.5	41.3	32.5
18	観光客が無料W i - F i に接続出来る環境があること	37.4	37.4	42.5	36.1
24	県民がホスピタリティ（人への直接的なもてなしの精神のみならず、町の清掃活動等も含む）にあふれていること	36.0	36.0	37.6	31.6
21	外国人観光客への対応能力を向上するため、外国語に長けた人材や語学力など専門的な知識や技術を有する外国人が観光産業に従事していること	35.8	35.8	38.8	31.7
7	国内外の学生、生徒、教育関係者などが教育旅行で沖縄を訪れていること	35.7	35.7	37.9	34.6
8	ウェディング、ショッピング、ダイビング、健康保養、卒業記念等、多種多様な目的も兼ねながら観光客が沖縄を訪れていること	35.5	35.5	34.3	32.0
41	次世代を担う県内の児童生徒に対し観光産業の重要性について理解を深めること	34.9	34.9	34.8	31.0
6	サッカーやバスケットボールなどの地元チームを活用し、県民と観光客が一体となって楽しんでいること	34.7	34.7	34.7	26.1
13	クルーズ船の寄港先が分散され、バス、タクシー等が一部地域に集中することによる負荷の低減や、観光地の分散化等が図られていること	34.4	34.4	32.0	28.9
22	観光従事者一人ひとりが沖縄観光を代表する存在として、観光客に責任を持って対応できていること	34.3	34.3	36.2	31.0
31	沖縄観光の高度化、国際化等の変化に対応するため、これまで以上にきめ細かいデータの収集と分析について取り組むこと	34.1	34.1	38.4	32.7
3	「空手発祥の地・沖縄」を世界に発信し、世界中の空手愛好家が沖縄を訪れていること	33.5	33.5	35.1	28.0
32	国内の沖縄旅行未経験者の誘客に取り組むこと	33.5	33.5	34.0	32.4
10	各地域において、その地域の特色を活かした観光誘客活動が行われていること	32.5	32.5	32.6	32.1
19	県内離島への観光が促進されていること	32.4	32.4	33.9	33.4
20	宿泊施設について客室単価の向上を図りながら、沖縄全体の宿泊供給量が増加していくこと	31.3	31.3	31.6	30.3
33	国内外の富裕層の誘客に取り組むこと	30.8	30.8	32.7	33.0
29	観光客の県内消費額を向上するため、滞在日数を向上するような取組を実施すること	30.5	30.5	33.5	33.8
39	観光関係者間、地域間、他分野間などの協働の場づくりを推進すること	30.3	30.3	29.6	27.9
37	沖縄の優位性を活かし、競合地との差別化を図るため、沖縄観光ブランド「Be.Okinawa」を国内外に発信すること	30.2	30.2	31.8	30.3
38	海外市場において効果的な誘客活動を行うため、海外メディアやウェブサイト・SNS等を通じた情報発信、ロケ作品を通じたプロモーション、海外事務所と連携した誘客活動等に取り組むこと	29.1	29.1	30.9	30.2
9	M I C Eを国内外から呼び込み、多くの方が沖縄を訪れていること	27.2	27.2	31.0	28.1
42	入域観光客数の目標設定など、客観指標に基づいた政策決定が行われていること	26.7	26.7	25.8	30.3
12	クルーズ船の寄港に対応する港湾施設の機能が強化され、クルーズ船による観光客が更に増えること	26.6	26.6	26.7	28.9
34	直行便が就航している東アジア地域（台湾、韓国、中国本土、香港）の誘客を拡大すること	25.3	25.3	28.4	27.5
36	旅行市場が成熟し長期滞在が期待できる欧米等のリゾート需要を取り込むこと	25.0	25.0	28.1	27.6
35	一部直行便が就航した東南アジア地域（タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、バトナム等）からの航空路線の安定化と拡充に積極的に取り組み、誘客を強化すること	23.5	23.5	27.0	28.1

図表 4-1-3 沖縄観光の各施策に対する“非常に重要”率（地域別）【2024 年度】

	(%)					
	北部	中部	那覇市	南部	宮古	八重山
15 県民や観光客が渋滞に巻き込まれずに目的地まで円滑に移動できること	69.0	68.1	67.9	57.9	56.7	52.7
16 観光客が、不慣れた道路環境等の理由によるレンタカーでの交通事故発生等のトラブル防止の対策がとられていること	57.8	59.2	61.4	52.2	66.0	61.5
1 沖縄の豊かな自然環境に配慮し、環境と共生した持続可能な観光が推進されていること	56.8	56.9	61.9	48.9	61.2	61.5
11 空港機能が強化されることにより、国内外の航空路線の拡充が行われ、県民や観光客の交通の便が良くなること	51.9	54.9	57.3	52.1	43.4	59.4
25 高齢であることや障害の有無などにかかわらず、県民、観光客誰もが快適に過ごせる環境が整っていること	57.9	55.4	52.7	52.1	47.6	59.6
2 文化・芸能・世界遺産などの魅力ある沖縄文化が、保全・継承され、観光資源として広く活用されていること	53.1	53.3	58.9	51.8	46.6	60.1
26 地震、津波等大規模災害や根拠の乏しい情報を起因とする風評被害への対応方針が整っていること	48.9	51.1	47.9	48.5	47.7	50.9
27 観光客の県内消費額を向上するため、沖縄独自の魅力を活かした商品・サービスが増えること	46.7	50.9	54.1	44.2	42.9	43.3
4 県内各地域の特性を踏まえた沖縄らしい風景や町並みが適切に保全され、良好な景観が形成されていること	49.7	51.0	49.9	41.7	51.8	56.7
17 観光情報を入手できる観光案内所や観光案内板等が多言語対応で整備されていること	49.0	48.5	53.7	39.6	41.1	44.2
14 決済手段が多様で、観光客が消費しやすい環境が整備されていること（クレジットカード決済、モバイル決済等）	40.3	48.6	46.6	43.1	29.7	39.4
30 年間を通して観光収入を安定的に確保するため、閑散期の誘客に取り組みすること	43.4	41.4	43.9	38.7	27.1	42.3
5 温暖な気候等を活かして、野球やサッカーなど各種キャンプ・大会が盛んに行われていること	41.3	42.5	42.5	39.0	32.9	32.3
23 今後の沖縄観光の持続的な振興を担う高度な経営人材を育成し、多様化・高度化する観光客のニーズに対応できていること	41.3	42.2	45.3	33.6	29.2	33.6
28 外国人観光客の県内消費額を向上するため、日本ブランドの魅力を活かした商品・サービスが増えること	37.8	41.2	42.9	36.8	33.9	37.2
40 観光産業がもたらす県経済への波及効果などを県民にわかり易く発信し、観光の意義や効果について県民の理解を促進すること	42.0	39.1	42.0	33.3	36.3	32.4
18 観光客が無料Wi-Fiに接続出来る環境があること	40.2	38.8	38.4	33.2	30.0	36.0
24 県民がホスピタリティ（人への直接的なもてなしの精神のみならず、町の清掃活動等も含む）にあふれていること	40.1	37.3	36.2	30.0	30.7	43.9
21 外国人観光客への対応能力を向上するため、外国語に長けた人材や語学力など専門的な知識や技術を有する外国人が観光産業に従事していること	34.6	37.5	38.8	30.9	33.3	29.0
7 国内外の学生、生徒、教育関係者などが教育旅行で沖縄を訪れていること	35.6	36.2	36.8	34.8	34.8	30.9
8 ウェディング、ショッピング、ダイビング、健康保養、卒業記念等、多種多様な目的も兼ねながら観光客が沖縄を訪れていること	29.9	38.0	37.8	33.3	25.8	27.9
41 次世代を担う県内の児童生徒に対し観光産業の重要性について理解を深めること	38.6	37.0	35.8	31.1	25.7	25.6
6 サッカーやバスケットボールなどの地元チームを活用し、県民と観光客が一体となって楽しんでいること	31.0	38.9	32.7	33.0	29.4	20.4
13 クルーズ船の寄港先が分散され、バス、タクシー等が一部地域に集中することによる負荷の低減や、観光地の分散化等が図られていること	30.0	35.6	37.0	31.8	30.8	32.8
22 観光従事者一人ひとりが沖縄観光を代表する存在として、観光客に責任を持って対応できていること	39.4	34.8	34.6	32.7	28.9	29.4
31 沖縄観光の高度化、国際化等の変化に対応するため、これまで以上にきめ細かいデータの収集と分析について取り組むこと	36.9	34.8	37.9	29.9	22.9	28.9
3 「空手発祥の地・沖縄」を世界に発信し、世界中の空手愛好家が沖縄を訪れていること	31.0	33.7	36.0	37.0	19.7	20.5
32 国内の沖縄旅行未経験者の誘客に取り組むこと	35.4	36.0	31.7	31.1	23.1	32.0
10 各地域において、その地域の特徴を活かした観光誘客活動が行われていること	31.4	32.2	35.5	30.1	25.6	39.5
19 県内離島への観光が促進されていること	35.1	33.3	30.9	32.6	22.5	33.2
20 宿泊施設について客室単価の向上を図りながら、沖縄全体の宿泊供給量が増加していくこと	35.9	31.8	29.6	32.4	24.3	28.1
33 国内外の富裕層の誘客に取り組むこと	30.9	31.5	30.5	29.7	27.0	32.6
29 観光客の県内消費額を向上するため、滞在日数が向上するような取組を実施すること	35.5	29.5	33.2	30.4	13.8	31.7
39 観光関係者間、地域間、他分野間などの協働の場づくりを推進すること	35.9	32.1	31.2	25.8	18.5	24.5
37 沖縄の優位性を活かし、競合地との差別化を図るため、沖縄観光ブランド「Be.Okinawa」を国内外に発信すること	33.0	30.7	33.8	25.9	20.9	27.5
38 海外市場において効果的な誘客活動を行うため、海外メディアやウェブサイト・SNS等を通じた情報発信、ロケ作品を通じたプロモーション、海外事務所と連携した誘客活動等に取り組むこと	29.2	31.0	30.4	26.7	18.3	22.5
9 MICEを国内外から呼び込み、多くの方が沖縄を訪れていること	25.4	28.6	28.8	25.7	18.6	21.6
42 入域観光客数の目標設定など、客観指標に基づいた政策決定が行われていること	25.8	29.6	27.8	21.5	19.6	22.0
12 クルーズ船の寄港に対応する港湾施設の機能が強化され、クルーズ船による観光客が更に増えること	23.8	27.1	30.1	27.9	7.6	21.6
34 直行便が就航している東アジア地域（台湾、韓国、中国本土、香港）の誘客を拡大すること	28.6	26.6	26.3	22.9	13.7	19.9
36 旅行市場が成熟し長期滞在が期待できる欧米等のリゾート需要を取り込むこと	31.9	24.3	26.5	23.8	16.7	23.2
35 一部直行便が就航した東南アジア地域（タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム等）からの航空路線の安定化と拡充に積極的に取り組み、誘客を強化すること	27.8	25.0	22.0	22.4	14.5	19.9

図表 4-1-4 沖縄観光の各施策に対する“非常に重要”率（地域別）【2023 年度】

	(%)					
	北部	中部	那覇市	南部	宮古	八重山
15 県民や観光客が渋滞に巻き込まれずに目的地まで円滑に移動できること	64.6	64.6	65.1	62.9	54.0	52.9
16 観光客が、不慣れな道路環境等の理由によるレンタカーでの交通事故発生等のトラブル防止の対策がとられていること	60.9	58.3	58.0	59.1	63.6	61.4
25 高齢であることや障害の有無などにかかわらず、県民、観光客誰もが快適に過ごせる環境が整っていること	57.3	57.5	60.0	55.2	50.9	54.1
11 空港機能が強化されることにより、国内外の航空路線の拡充が行われ、県民や観光客の交通の便が良くなること	56.3	58.4	55.5	55.1	48.9	48.1
1 沖縄の豊かな自然環境に配慮し、環境と共生した持続可能な観光が推進されていること	46.0	55.5	60.3	55.7	50.7	58.9
2 文化・芸能・世界遺産などの魅力ある沖縄文化が、保全・継承され、観光資源として広く活用されていること	46.4	54.5	56.8	51.7	51.5	44.3
26 地震、津波等大規模災害や根拠の乏しい情報を起因とする風評被害への対応方針が整っていること	54.3	51.8	52.5	52.3	50.5	47.7
17 観光情報を入力できる観光案内所や観光案内板等が多言語対応で整備されていること	55.1	51.6	51.1	52.8	40.3	45.0
27 観光客の県内消費額を向上するため、沖縄独自の魅力を活かした商品・サービスが増えること	51.6	50.6	51.8	52.2	43.8	46.8
4 県内各地域の特性を踏まえた沖縄らしい風景や町並みが適切に保全され、良好な景観が形成されていること	47.4	47.7	49.9	46.8	42.6	51.7
14 決済手段が多様で、観光客が消費しやすい環境が整備されていること（クレジットカード決済、モバイル決済等）	46.1	51.3	45.7	46.2	30.9	37.3
18 観光客が無料Wi-Fiに接続出来る環境があること	45.3	44.7	39.7	42.2	33.3	37.3
5 温暖な気候等を活かして、野球やサッカーなど各種キャンプ・大会が盛んに行われていること	42.9	43.0	43.5	43.8	32.8	28.7
30 年間を通して観光収入を安定的に確保するため、閑散期の誘客に取り組むこと	42.5	42.1	38.1	46.7	31.7	39.9
40 観光産業がもたらす県経済への波及効果などを県民にわかり易く発信し、観光の意義や効果について県民の理解を促進すること	41.9	42.3	41.5	41.7	32.0	33.2
28 外国人観光客の県内消費額を向上するため、日本ブランドの魅力を活かした商品・サービスが増えること	41.4	41.1	41.6	41.2	33.9	35.9
23 今後の沖縄観光の持続的な振興を担う高度な経営人材を育成し、多様化・高度化する観光客のニーズに対応できていること	42.8	38.4	41.8	42.4	28.5	30.2
21 外国人観光客への対応能力を向上するため、外国語に長けた人材や語学力など専門的な知識や技術を有する外国人が観光産業に従事していること	40.7	39.5	39.4	40.4	25.9	27.8
31 沖縄観光の高度化、国際化等の変化に対応するため、これまで以上にきめ細かいデータの収集と分析について取り組むこと	38.5	39.3	38.5	40.1	28.8	28.8
7 国内外の学生、生徒、教育関係者などが教育旅行で沖縄を訪れていること	36.5	38.7	36.8	41.0	31.4	28.4
24 県民がホスピタリティ（人への直接的なもてなしの精神のみならず、町の清掃活動等も含む）にあふれていること	40.2	36.6	36.4	41.7	32.3	36.2
22 観光従事者一人ひとりが沖縄観光を代表する存在として、観光客に責任を持って対応できていること	33.0	35.4	37.1	39.9	31.6	33.7
3 「空手発祥の地・沖縄」を世界に発信し、世界中の空手愛好家が沖縄を訪れていること	33.1	35.7	38.5	34.8	22.1	26.9
41 次世代を担う県内の児童生徒に対し観光産業の重要性について理解を深めること	40.4	32.9	36.5	37.3	29.9	28.6
6 サッカーやバスケットボールなどの地元チームを活用し、県民と観光客が一体となって楽しんでいること	33.7	34.8	37.0	36.4	28.7	20.7
8 ウェディング、ショッピング、ダイビング、健康保養、卒業記念等、多種多様な目的も兼ねながら観光客が沖縄を訪れていること	34.9	33.7	35.9	37.2	24.3	26.3
32 国内の沖縄旅行未経験者の誘客に取り組むこと	32.1	34.1	35.0	36.8	23.2	29.7
19 県内離島への観光が促進されていること	35.1	33.7	30.3	38.7	29.4	34.3
29 観光客の県内消費額を向上するため、滞在日数が向上するような取組を実施すること	34.0	34.4	32.1	36.2	23.8	26.2
33 国内外の富裕層の誘客に取り組むこと	32.3	33.5	33.7	34.6	16.5	25.7
10 各地域において、その地域の特色を活かした観光誘客活動が行われていること	37.2	30.5	32.6	36.3	26.7	32.5
13 クルーズ船の寄港先が分散され、バス、タクシー等が一部地域に集中することによる負荷の低減や、観光地の分散化等が図られていること	30.3	32.0	31.2	36.5	24.3	27.0
37 沖縄の優位性を活かし、競合地との差別化を図るため、沖縄観光ブランド「Be.Okinawa」を国内外に発信すること	31.9	32.1	33.0	33.8	17.6	25.6
20 宿泊施設について客室単価の向上を図りながら、沖縄全体の宿泊供給量が増加していくこと	30.5	33.3	30.6	33.4	17.2	24.4
9 MICEを国内外から呼び込み、多くの方が沖縄を訪れていること	28.8	31.4	31.1	33.3	23.7	27.4
38 海外市場において効果的な誘客活動を行うため、海外メディアやウェブサイト・SNS等を通じた情報発信、ロケ作品を通じたプロモーション、海外事務所と連携した誘客活動等に取り組むこと	26.8	32.1	32.9	32.4	18.1	20.1
39 観光関係者間、地域間、他分野間などの協働の場づくりを推進すること	30.4	28.8	31.1	31.6	21.8	26.8
34 直行便が就航している東アジア地域（台湾、韓国、中国本土、香港）の誘客を拡大すること	26.1	28.8	29.7	31.5	15.5	19.5
36 旅行市場が成熟し長期滞在が期待できる欧米等のリゾート需要を取り込むこと	26.6	28.9	29.4	29.8	13.4	20.4
35 一部直行便が就航した東南アジア地域（タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム等）からの航空路線の安定化と拡充に積極的に取り組み、誘客を強化すること	26.8	26.1	29.4	30.4	14.4	20.1
12 クルーズ船の寄港に対応する港湾施設の機能が強化され、クルーズ船による観光客が更に増えること	25.0	27.3	27.2	29.3	13.8	19.8
42 入域観光客数の目標設定など、客観指標に基づいた政策決定が行われていること	25.2	26.1	25.4	28.2	19.1	21.4

図表 4-1-5 沖縄観光の各施策に対する“非常に重要”率（性別）

		(%)	
		男性	女性
15	県民や観光客が渋滞に巻き込まれずに目的地まで円滑に移動できること	62.8	67.5
16	観光客が、不慣れな道路環境等の理由によるレンタカーでの交通事故発生等のトラブル防止の対策がとられていること	55.8	61.2
1	沖縄の豊かな自然環境に配慮し、環境と共生した持続可能な観光が推進されていること	54.8	58.8
11	空港機能が強化されることにより、国内外の航空路線の拡充が行われ、県民や観光客の交通の便が良くなること	53.3	55.9
25	高齢であることや障害の有無などにかかわらず、県民、観光客誰もが快適に過ごせる環境が整っていること	49.7	59.2
2	文化・芸能・世界遺産などの魅力ある沖縄文化が、保全・継承され、観光資源として広く活用されていること	49.6	59.5
26	地震、津波等大規模災害や根拠の乏しい情報を起因とする風評被害への対応方針が整っていること	45.0	54.5
27	観光客の県内消費額を向上するため、沖縄独自の魅力を活かした商品・サービスが増えること	47.7	51.7
4	県内各地域の特性を踏まえた沖縄らしい風景や町並みが適切に保全され、良好な景観が形成されていること	46.3	51.9
17	観光情報を入力できる観光案内所や観光案内板等が多言語対応で整備されていること	43.3	51.9
14	決済手段が多様で、観光客が消費しやすい環境が整備されていること（クレジットカード決済、モバイル決済等）	43.1	47.5
30	年間を通して観光収入を安定的に確保するため、閑散期の誘客に取り組むこと	40.3	41.8
5	温暖な気候等を活かして、野球やサッカーなど各種キャンプ・大会が盛んに行われていること	43.0	39.8
23	今後の沖縄観光の持続的な振興を担う高度な経営人材を育成し、多様化・高度化する観光客のニーズに対応できていること	38.8	42.0
28	外国人観光客の県内消費額を向上するため、日本ブランドの魅力を活かした商品・サービスが増えること	37.7	42.6
40	観光産業がもたらす県経済への波及効果などを県民にわかり易く発信し、観光の意義や効果について県民の理解を促進すること	38.6	38.5
18	観光客が無料WiFiに接続出来る環境があること	34.5	40.4
24	県民がホスピタリティ（人への直接的なもてなしの精神のみならず、町の清掃活動等も含む）にあふれていること	35.0	37.6
21	外国人観光客への対応能力を向上するため、外国語に長けた人材や語学力など専門的な知識や技術を有する外国人が観光産業に従事していること	32.1	39.6
7	国内外の学生、生徒、教育関係者などが教育旅行で沖縄を訪れていること	35.1	36.3
8	ウェディング、ショッピング、ダイビング、健康保養、卒業記念等、多種多様な目的も兼ねながら観光客が沖縄を訪れていること	33.6	38.1
41	次世代を担う県内の児童生徒に対し観光産業の重要性について理解を深めること	36.6	33.4
6	サッカーやバスケットボールなどの地元チームを活用し、県民と観光客が一体となって楽しんでいること	35.2	34.5
13	クルーズ船の寄港先が分散され、バス、タクシー等が一部地域に集中することによる負荷の低減や、観光地の分散化等が図られていること	34.5	34.5
22	観光従事者一人ひとりが沖縄観光を代表する存在として、観光客に責任を持って対応できていること	32.1	36.8
31	沖縄観光の高度化、国際化等の変化に対応するため、これまで以上にきめ細かいデータの収集と分析について取り組むこと	35.9	32.5
3	「空手発祥の地・沖縄」を世界に発信し、世界中の空手愛好家が沖縄を訪れていること	31.9	35.9
32	国内の沖縄旅行未経験者の誘客に取り組むこと	34.9	32.0
10	各地域において、その地域の特徴を活かした観光誘客活動が行われていること	33.8	31.5
19	県内離島への観光が促進されていること	33.6	31.3
20	宿泊施設について客室単価の向上を図りながら、沖縄全体の宿泊供給量が増加していくこと	29.6	33.4
33	国内外の富裕層の誘客に取り組むこと	32.0	29.8
29	観光客の県内消費額を向上するため、滞在日数が向上するような取組を実施すること	31.3	29.7
39	観光関係者間、地域間、他分野間などの協働の場づくりを推進すること	30.5	29.8
37	沖縄の優位性を活かし、競合地との差別化を図るため、沖縄観光ブランド「Be.Okinawa」を国内外に発信すること	30.5	29.9
38	海外市場において効果的な誘客活動を行うため、海外メディアやウェブサイト・SNS等を通じた情報発信、ロケ作品を通じたプロモーション、海外事務所と連携した誘客活動等に取り組むこと	29.1	28.8
9	MICEを国内外から呼び込み、多くの方が沖縄を訪れていること	27.1	27.6
42	入域観光客数の目標設定など、客観指標に基づいた政策決定が行われていること	27.1	26.4
12	クルーズ船の寄港に対応する港湾施設の機能が強化され、クルーズ船による観光客が更に増えること	28.6	25.1
34	直行便が就航している東アジア地域（台湾、韓国、中国本土、香港）の誘客を拡大すること	26.5	24.3
36	旅行市場が成熟し長期滞在が期待できる欧米等のリゾート需要を取り込むこと	25.7	24.3
35	一部直行便が就航した東南アジア地域（タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、 베트남等）からの航空路線の安定化と拡充に積極的に取り組み、誘客を強化すること	26.2	21.2

図表 4-1-6 沖縄観光の各施策に対する“非常に重要”率（年代別）

	(%)						
	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代
15 県民や観光客が渋滞に巻き込まれず目的まで円滑に移動できること	54.0	74.0	70.6	69.9	68.5	57.1	49.4
16 観光客が、不慣れな道路環境等の理由によるレンタカーでの交通事故発生等のトラブル防止の対策がとられていること	60.1	73.9	62.0	60.3	56.6	49.8	42.6
1 沖縄の豊かな自然環境に配慮し、環境と共生した持続可能な観光が推進されていること	55.4	62.8	61.7	61.6	59.5	46.1	43.8
11 空港機能が強化されることにより、国内外の航空路線の拡充が行われ、県民や観光客の交通の便が良くなること	52.5	65.6	54.2	54.5	56.9	46.0	48.1
25 高齢であることや障害の有無などにかかわらず、県民、観光客誰もが快適に過ごせる環境が整っていること	59.9	60.9	55.4	53.4	53.8	51.7	44.2
2 文化・芸能・世界遺産などの魅力ある沖縄文化が、保全・継承され、観光資源として広く活用されていること	54.5	61.8	59.7	55.6	55.0	44.5	44.8
26 地震、津波等大規模災害や根拠の乏しい情報を起因とする風評被害への対応方針が整っていること	50.1	58.7	50.4	48.1	48.2	47.5	42.9
27 観光客の県内消費額を向上するため、沖縄独自の魅力を活かした商品・サービスが増えること	49.4	60.4	50.5	49.7	48.7	41.3	45.2
4 県内各地域の特性を踏まえた沖縄らしい風景や町並みが適切に保全され、良好な景観が形成されていること	57.8	63.4	53.3	50.4	47.3	36.4	35.4
17 観光情報入手できる観光案内所や観光案内板等が多言語対応で整備されていること	57.4	52.7	52.9	46.5	45.4	40.3	40.7
14 決済手段が多様で、観光客が消費しやすい環境が整備されていること（クレジットカード決済、モバイル決済等）	50.0	65.9	51.3	50.0	40.7	28.5	27.3
30 年間を通して観光収入を安定的に確保するため、閑散期の誘客に取り組むこと	40.7	47.7	38.3	43.7	40.1	37.5	38.9
5 温暖な気候等を活かして、野球やサッカーなど各種キャンプ・大会が盛んに行われていること	42.6	48.7	37.9	40.4	38.6	37.9	44.9
23 今後の沖縄観光の持続的な振興を担う高度な経営人材を育成し、多様化・高度化する観光客のニーズに対応できていること	40.5	47.1	35.0	38.0	41.2	41.4	41.0
28 外国人観光客の県内消費額を向上するため、日本ブランドの魅力を活かした商品・サービスが増えること	44.7	53.5	38.3	39.0	38.3	32.6	36.1
40 観光産業がもたらす県経済への波及効果などを県民にわかりやすく発信し、観光の意義や効果について県民の理解を促進すること	40.1	46.8	38.0	40.7	34.3	36.4	32.8
18 観光客が無料Wi-Fiに接続出来る環境があること	38.8	41.4	36.9	36.1	42.0	33.0	31.6
24 県民がホスピタリティ（人への直接的なもてなしの精神のみならず、町の清掃活動等も含む）にあふれていること	46.5	43.1	34.0	35.9	34.8	30.4	31.4
21 外国人観光客への対応能力を向上するため、外国語に長けた人材や語学力など専門的な知識や技術を有する外国人が観光産業に従事していること	39.9	44.9	33.6	36.1	36.2	30.1	30.5
7 国内外の学生、生徒、教育関係者などが教育旅行で沖縄を訪れていること	43.0	41.7	38.6	34.1	33.0	28.0	37.8
8 ウェディング、ショッピング、ダイビング、健康保養、卒業記念等、多種多様な目的も兼ねながら観光客が沖縄を訪れていること	41.3	49.8	37.7	34.2	33.8	26.7	25.8
41 次世代を担う県内の児童生徒に対し観光産業の重要性について理解を深めること	36.3	47.8	32.3	34.7	31.0	28.8	37.5
6 サッカーやバスケットボールなどの地元チームを活用し、県民と観光客が一体となって楽しんでいること	40.5	46.9	35.9	37.9	31.4	25.6	24.1
13 クルーズ船の寄港先が分散され、バス、タクシー等が一部地域に集中することによる負荷の低減や、観光地の分散化等が図られていること	35.9	45.3	36.1	36.4	32.5	26.4	26.8
22 観光従事者一人ひとりが沖縄観光を代表する存在として、観光客に責任を持って対応できていること	39.7	39.9	30.7	33.8	35.2	32.4	30.0
31 沖縄観光の高度化、国際化等の変化に対応するため、これまで以上にきめ細かいデータの収集と分析について取り組むこと	31.1	39.9	30.0	34.2	32.8	35.5	34.4
3 「空手発祥の地・沖縄」を世界に発信し、世界中の空手愛好家が沖縄を訪れていること	36.0	35.0	30.9	32.3	34.9	32.0	36.7
32 国内の沖縄旅行未経験者の誘客に取り組むこと	35.3	42.1	31.1	33.1	32.1	28.5	35.2
10 各地域において、その地域の特色を活かした観光誘客活動が行われていること	40.7	46.5	35.0	33.8	28.9	21.7	22.1
19 県内離島への観光が促進されていること	34.5	40.6	34.1	31.3	30.7	27.9	28.1
20 宿泊施設について客室単価の向上を図りながら、沖縄全体の宿泊供給量が増加していくこと	35.1	41.6	30.5	32.3	29.6	25.2	25.6
33 国内外の富裕層の誘客に取り組むこと	33.2	39.7	31.6	31.4	28.3	24.9	27.2
29 観光客の県内消費額を向上するため、滞在日数が向上するような取組を実施すること	31.6	37.8	30.0	31.6	27.0	27.6	28.6
39 観光関係者間、地域間、他分野間などの協働の場づくりを推進すること	38.7	39.1	26.7	30.5	26.0	25.7	31.2
37 沖縄の優位性を活かし、競合地との差別化を図るため、沖縄観光ブランド「Be.Okinawa」を国内外に発信すること	30.2	37.2	21.4	28.5	30.6	31.6	34.9
38 海外市場において効果的な誘客活動を行うため、海外メディアやウェブサイト・SNS等を通じた情報発信、ロケ作品を通じたプロモーション、海外事務所と連携した誘客活動等に取り組むこと	35.3	37.9	26.7	27.4	26.9	26.2	27.0
9 MICEを国内外から呼び込み、多くの方が沖縄を訪れていること	33.4	39.5	26.9	24.1	24.4	22.7	22.6
42 入域観光客数の目標設定など、客観指標に基づいた政策決定が行われていること	30.4	37.6	26.3	25.4	22.6	24.0	22.6
12 クルーズ船の寄港に対応する港湾施設の機能が強化され、クルーズ船による観光客が更にも増えること	27.1	34.2	24.3	26.5	28.8	20.9	24.7
34 直行便が就航している東アジア地域（台湾、韓国、中国本土、香港）の誘客を拡大すること	33.4	32.9	22.9	22.5	23.8	22.6	23.9
36 旅行市場が成熟し長期滞在が期待できる欧米等のリゾート需要を取り込むこと	29.4	30.4	24.6	22.8	23.5	24.7	21.3
35 一部直行便が就航した東南アジア地域（タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム等）からの航空路線の安定化と拡充に積極的に取り組み、誘客を強化すること	27.3	29.1	21.3	22.5	22.3	21.8	22.9

図表 4-1-7 沖縄観光の各施策に対する“非常に重要”率（観光客と接する機会別）

		日常業務の一環	日常生活のコミュニケーション	機会なし
15	県民や観光客が渋滞に巻き込まれずに目的地まで円滑に移動できること	66.8	67.4	64.5
16	観光客が、不慣れな道路環境等の理由によるレンタカーでの交通事故発生等のトラブル防止の対策がとられていること	63.5	61.5	57.2
1	沖縄の豊かな自然環境に配慮し、環境と共生した持続可能な観光が推進されていること	62.5	64.8	53.3
11	空港機能が強化されることにより、国内外の航空路線の拡充が行われ、県民や観光客の交通の便が良くなること	61.6	60.2	50.9
25	高齢であることや障害の有無などにかかわらず、県民、観光客誰もが快適に過ごせる環境が整っていること	57.4	56.3	53.7
2	文化・芸能・世界遺産などの魅力ある沖縄文化が、保全・継承され、観光資源として広く活用されていること	59.9	58.8	52.0
26	地震、津波等大規模災害や根拠の乏しい情報を起因とする風評被害への対応方針が整っていること	54.6	53.9	47.5
27	観光客の県内消費額を向上するため、沖縄独自の魅力を活かした商品・サービスが増えること	56.5	55.3	46.0
4	県内各地域の特性を踏まえた沖縄らしい風景や町並みが適切に保全され、良好な景観が形成されていること	57.8	57.8	44.8
17	観光情報を入手できる観光案内所や観光案内板等が多言語対応で整備されていること	52.7	50.4	45.8
14	決済手段が多様で、観光客が消費しやすい環境が整備されていること（クレジットカード決済、モバイル決済等）	50.7	47.4	43.7
30	年間を通して観光収入を安定的に確保するため、閑散期の誘客に取り組むこと	53.8	41.6	38.2
5	温暖な気候等を活かして、野球やサッカーなど各種キャンプ・大会が盛んに行われていること	43.7	42.7	39.8
23	今後の沖縄観光の持続的な振興を担う高度な経営人材を育成し、多様化・高度化する観光客のニーズに対応できていること	45.9	44.3	38.1
28	外国人観光客の県内消費額を向上するため、日本ブランドの魅力を活かした商品・サービスが増えること	48.3	43.6	37.3
40	観光産業がもたらす県経済への波及効果などを県民にわかり易く発信し、観光の意義や効果について県民の理解を促進すること	44.4	42.7	35.9
18	観光客が無料W i - F i に接続出来る環境があること	41.7	37.5	36.4
24	県民がホスピタリティ（人への直接的なもてなしの精神のみならず、町の清掃活動等も含む）にあふれていること	43.6	39.4	33.5
21	外国人観光客への対応能力を向上するため、外国語に長けた人材や語学力など専門的な知識や技術を有する外国人が観光産業に従事していること	42.4	38.9	33.6
7	国内外の学生、生徒、教育関係者などが教育旅行で沖縄を訪れていること	40.4	39.2	34.0
8	ウェディング、ショッピング、ダイビング、健康保養、卒業記念等、多種多様な目的も兼ねながら観光客が沖縄を訪れていること	42.0	39.8	33.0
41	次世代を担う県内の児童生徒に対し観光産業の重要性について理解を深めること	42.0	37.2	32.6
6	サッカーやバスケットボールなどの地元チームを活用し、県民と観光客が一体となって楽しんでいること	34.1	38.1	34.1
13	クルーズ船の寄港先が分散され、バス、タクシー等が一部地域に集中することによる負荷の低減や、観光地の分散化等が図られていること	41.2	37.9	31.7
22	観光従事者一人ひとりが沖縄観光を代表する存在として、観光客に責任を持って対応できていること	42.6	35.8	32.3
31	沖縄観光の高度化、国際化等の変化に対応するため、これまで以上にきめ細かいデータの収集と分析について取り組むこと	38.1	37.4	31.9
3	「空手発祥の地・沖縄」を世界に発信し、世界中の空手愛好家が沖縄を訪れていること	37.2	36.4	31.6
32	国内の沖縄旅行未経験者の誘客に取り組むこと	40.6	35.8	31.4
10	各地域において、その地域の特徴を活かした観光誘客活動が行われていること	38.3	39.5	29.0
19	県内離島への観光が促進されていること	36.3	36.1	30.2
20	宿泊施設について客室単価の向上を図りながら、沖縄全体の宿泊供給量が増加していくこと	38.9	34.6	28.8
33	国内外の富裕層の誘客に取り組むこと	35.6	32.3	29.4
29	観光客の県内消費額を向上するため、滞在日数が向上するような取組を実施すること	33.8	35.7	28.2
39	観光関係者間、地域間、他分野間などの協働の場づくりを推進すること	36.9	36.3	26.6
37	沖縄の優位性を活かし、競合地との差別化を図るため、沖縄観光ブランド「Be. Okinawa」を国内外に発信すること	31.3	32.8	29.4
38	海外市場において効果的な誘客活動を行うため、海外メディアやウェブサイト・SNS等を通じた情報発信、ロケ作品を連じたプロモーション、海外事務所と連携した誘客活動等に取り組むこと	31.6	36.9	26.1
9	M I C E を国内外から呼び込み、多くの方が沖縄を訪れていること	31.7	31.3	24.9
42	入域観光客数の目標設定など、客観指標に基づいた政策決定が行われていること	31.6	31.4	24.3
12	クルーズ船の寄港に対応する港湾施設の機能が強化され、クルーズ船による観光客が更に増えること	32.3	30.1	23.9
34	直行便が就航している東アジア地域（台湾、韓国、中国本土、香港）の誘客を拡大すること	30.6	27.2	23.4
36	旅行市場が成熟し長期滞在が期待できる欧米等のリゾート需要を取り込むこと	29.5	30.4	22.0
35	一部直行便が就航した東南アジア地域（タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、バトナム等）からの航空路線の安定化と拡充に積極的に取り組み、誘客を強化すること	28.3	25.3	21.8

(2) 沖縄観光の各施策に対する達成度

Q4 ② それぞれの事項について、今の沖縄の観光は、達成できていると思いますか。

- “非常に達成できている”と“ある程度達成できている”を合わせた達成率の上位5項目は、「温暖な気候等を活かして、野球やサッカーなど各種キャンプ・大会が盛んに行われていること（75.3%）」、「ウェディング、ショッピング、ダイビング、健康保養、卒業記念等、多種多様な目的も兼ねながら観光客が沖縄を訪れていること（66.1%）」、「文化・芸能・世界遺産などの魅力ある沖縄文化が、保全・継承され、観光資源として広く活用されていること（58.7%）」、「サッカーやバスケットボールなどの地元チームを活用し、県民と観光客が一体となって楽しんでいること（58.5%）」、「国内外の学生、生徒、教育関係者などが教育旅行で沖縄を訪れていること（56.2%）」であった。
- 一方、達成率の下位5項目は、「地震、津波等大規模災害や根拠の乏しい情報を起因とする風評被害への対応方針が整っていること（14.3%）」、「旅行市場が成熟し長期滞在が期待できる欧米等のリゾート需要を取り込むこと（14.5%）」、「観光客が、不慣れな道路環境等の理由によるレンタカーでの交通事故発生等のトラブル防止の対策がとられていること（14.8%）」、「県民や観光客が渋滞に巻き込まれずに目的地まで円滑に移動できること（16.4%）」、「沖縄観光の高度化、国際化等の変化に対応するため、これまで以上にきめ細かいデータの収集と分析について取り組むこと（16.6%）」、であった。
- 前回調査と比べると、上位5つの項目に変動はない。

- 地域別にみると、八重山以外の全ての地域で「各種キャンプ・大会の開催」の達成率が最も高い。各地域の上位・下位3項目は以下の通り。

		北部	中部	那覇市	南部	宮古	八重山
上位	1位	・各種キャンプ・大会の開催(第1位)	・各種キャンプ・大会の開催(第1位)	・各種キャンプ・大会の開催(第1位)	・各種キャンプ・大会の開催(第1位)	・各種キャンプ・大会の開催(第1位)	・多種多様な目的での訪問(第2位)
	2位	・多種多様な目的での訪問(第2位)	・多種多様な目的での訪問(第3位)	・多種多様な目的での訪問(第2位)	・多種多様な目的での訪問(第2位)	・多種多様な目的での訪問(第2位)	・各種キャンプ・大会の開催(第1位)
	3位	・沖縄文化の保全・継承・活用(第5位)	・地元チームの活用(第2位)	・教育旅行の推進(第5位)	・沖縄文化の保全・継承・活用(第4位)	・教育旅行の推進(第7位)	・沖縄文化の保全・継承・活用(第4位)
下位	1位	・交通事故等のトラブル防止対策(下位第6位)	・交通事故等のトラブル防止対策(下位第5位)	・風評被害対策(下位第3位)	・風評被害対策(下位第4位)	・欧米等リゾート需要の取込(下位第1位)	・東南アジアの誘客(下位第1位)
	2位	・欧米等リゾート需要の取込(下位第5位)	・風評被害対策(下位第2位)	・欧米等リゾート需要の取込(下位第1位)	・欧米等リゾート需要の取込(下位第1位)	・風評被害対策(下位第3位)	・欧米等リゾート需要の取込(下位第4位)
	3位	・風評被害対策(下位第2位)	・円滑な移動(下位第4位)	・交通事故等のトラブル防止対策(下位第4位)	・協働の場づくり(下位第11位)	・海外メディア等と連携した誘客(下位第4位)	・データの収集・分析(下位第5位)

※1：括弧内は前回調査の順位

※2：同率でも小数点以下の違いにより順位が異なる場合がある

- 性別や年代別、観光客と接する機会別では、上位項目の傾向に大きな違いはみられない。

図表 4-2-1 沖縄観光の各施策に対する達成度

								(%)	達成度 得点
	非常に 達成できて いる	ある程度 達成できて いる	どちらとも いえない	あまり 達成できて いない	全く 達成できて いない	無回答	達成率 (非常に+ある程 度)		
5	温暖な気候等を活かして、野球やサッカーなど各種キャンプ・大会が盛んに行われていること	24.0	51.3	17.2	4.3	1.1	2.1	75.3	3.95
8	ウェディング、ショッピング、ダイビング、健康保養、卒業記念等、多種多様な目的も兼ねながら観光客が沖縄を訪れていること	18.8	47.3	28.0	3.3	0.7	2.0	66.1	3.82
2	文化・芸能・世界遺産などの魅力ある沖縄文化が、保全・継承され、観光資源として広く活用されていること	10.1	48.6	28.3	9.5	1.3	2.2	58.7	3.58
6	サッカーやバスケットボールなどの地元チームを活用し、県民と観光客が一体となって楽しんでいること	18.7	39.8	30.1	7.3	2.0	2.1	58.5	3.67
7	国内外の学生、生徒、教育関係者などが教育旅行で沖縄を訪れていること	14.2	42.0	34.6	6.2	1.0	2.1	56.2	3.63
3	「空手発祥の地・沖縄」を世界に発信し、世界中の空手愛好家が沖縄を訪れていること	13.1	38.4	36.1	8.4	1.8	2.2	51.6	3.54
14	決済手段が多様で、観光客が消費しやすい環境が整備されていること（クレジットカード決済、モバイル決済等）	10.7	37.5	35.1	12.1	2.4	2.2	48.2	3.43
11	空港機能が強化されることにより、国内外の航空路線の拡充が行われ、県民や観光客の交通の便が良くなること	9.6	36.1	34.8	13.6	3.7	2.2	45.7	3.35
27	観光客の県内消費額を向上するため、沖縄独自の魅力を活かした商品・サービスが増えること	7.3	31.1	42.8	14.4	2.6	1.9	38.4	3.27
1	沖縄の豊かな自然環境に配慮し、環境と共生した持続可能な観光が推進されていること	6.3	31.6	38.6	18.4	2.7	2.4	37.9	3.21
12	クルーズ船の寄港に対応する港湾施設の機能が強化され、クルーズ船による観光客が更に増えること	7.9	29.6	47.7	10.3	2.3	2.3	37.5	3.31
19	県内離島への観光が促進されていること	6.8	30.6	46.6	11.4	2.4	2.3	37.4	3.29
4	県内各地域の特性を踏まえた沖縄らしい風景や町並みが適切に保全され、良好な景観が形成されていること	7.8	29.1	39.1	18.3	3.5	2.1	36.9	3.20
34	直行便が就航している東アジア地域（台湾、韓国、中国本土、香港）の誘客を拡大すること	6.7	29.3	50.7	8.1	2.9	2.4	35.9	3.30
17	観光情報を入手できる観光案内所や観光案内板等が多言語対応で整備されていること	6.7	26.6	39.2	21.0	4.3	2.2	33.3	3.11
10	各地域において、その地域の特色を活かした観光誘客活動が行われていること	7.5	25.7	44.6	17.0	3.1	2.1	33.2	3.18
9	M I C E を国内外から呼び込み、多くの方が沖縄を訪れていること	6.6	24.9	51.0	13.2	2.2	2.2	31.5	3.21
20	宿泊施設について客室単価の向上を図りながら、沖縄全体の宿泊供給量が増加していくこと	5.7	25.0	54.3	10.6	2.3	2.1	30.7	3.22
28	外国人観光客の県内消費額を向上するため、日本ブランドの魅力を活かした商品・サービスが増えること	5.9	23.3	51.9	14.1	2.9	1.8	29.2	3.15
18	観光客が無料W i - F i に接続出来る環境があること	5.6	22.6	48.2	16.8	5.0	2.0	28.1	3.07
24	県民がホスピタリティ（人への直接的なもてなしの精神のみならず、町の清掃活動等も含む）にあふれていること	5.2	21.5	46.2	21.4	3.9	1.9	26.7	3.03
21	外国人観光客への対応能力を向上するため、外国語に長けた人材や語学力など専門的な知識や技術を有する外国人が観光産業に従事していること	5.1	19.2	50.0	19.6	4.0	2.1	24.4	3.02
22	観光従事者一人ひとりが沖縄観光を代表する存在として、観光客に責任を持って対応できていること	5.0	19.0	52.3	17.6	3.7	2.3	24.1	3.04
13	クルーズ船の寄港先が分散され、バス、タクシー等が一部地域に集中することによる負荷の低減や、観光地の分散化等が図られていること	5.9	17.6	50.0	19.0	5.3	2.2	23.5	3.00
32	国内の沖縄旅行未経験者の誘客に取り組むこと	3.8	17.2	56.3	17.4	3.2	2.0	21.0	3.01
30	年間を通して観光収入を安定的に確保するため、閑散期の誘客に取り組むこと	3.5	17.4	49.2	23.9	3.8	2.3	20.9	2.93
33	国内外の富裕層の誘客に取り組むこと	3.9	16.7	55.7	16.5	5.0	2.1	20.7	2.98
35	一部直行便が就航した東南アジア地域（タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム等）からの航空路線の安定化と拡充に積極的に取り組み、誘客を強化すること	3.8	16.8	59.8	13.9	3.6	2.1	20.6	3.03
42	入域観光客数の目標設定など、客観指標に基づいた政策決定が行われていること	4.4	15.8	60.0	13.4	4.3	2.1	20.2	3.03
23	今後の沖縄観光の持続的な振興を担う高度な経営人材を育成し、多様化・高度化する観光客のニーズに対応できていること	4.6	15.4	53.8	19.9	4.0	2.3	20.0	2.97
40	観光産業がもたらす県経済への波及効果などを県民にわかり易く発信し、観光の意義や効果について県民の理解を促進すること	3.8	14.8	48.4	23.9	6.9	2.1	18.7	2.85
29	観光客の県内消費額を向上するため、滞在日数が向上するような取組を実施すること	3.5	15.1	58.6	18.4	2.3	2.0	18.7	2.99
25	高齢であることや障害の有無などにかかわらず、県民、観光客誰もが快適に過ごせる環境が整っていること	4.6	13.5	46.5	27.1	6.3	2.0	18.2	2.83
38	海外市場において効果的な誘客活動を行うため、海外メディアやウェブサイト・SNS等を通じた情報発信、ロケ作品を通じたプロモーション、海外事務所と連携した誘客活動等に取り組むこと	3.9	13.7	58.3	16.9	4.7	2.4	17.7	2.95
41	次世代を担う県内の児童生徒に対し観光産業の重要性について理解を深めること	4.3	13.1	51.7	21.4	7.4	2.0	17.5	2.85
39	観光関係者間、地域間、他分野間などの協働の場づくりを推進すること	3.8	13.7	59.7	16.5	4.3	2.0	17.5	2.96
37	沖縄の優位性を活かし、競合地との差別化を図るため、沖縄観光ブランド「Be.Okinawa」を国内外に発信すること	3.9	13.5	57.2	17.3	6.1	2.0	17.5	2.92
31	沖縄観光の高度化、国際化等の変化に対応するため、これまで以上にきめ細かいデータの収集と分析について取り組むこと	3.6	13.0	62.4	15.5	3.4	2.1	16.6	2.98
15	県民や観光客が渋滞に巻き込まれずに目的地まで円滑に移動できること	4.1	12.3	30.4	37.6	13.6	2.1	16.4	2.55
16	観光客が、不慣れた道路環境等の理由によるレンタカーでの交通事故発生等のトラブル防止の対策がとられていること	3.7	11.1	40.2	31.1	11.4	2.5	14.8	2.64
36	旅行市場が成熟し長期滞在が期待できる欧米等のリゾート需要を取り込むこと	3.2	11.3	58.6	19.2	5.4	2.3	14.5	2.87
26	地震、津波等大規模災害や根拠の乏しい情報を起因とする風評被害への対応方針が整っていること	4.2	10.1	50.8	24.7	8.1	2.1	14.3	2.77

※達成度得点：「非常に達成できている」＝5点、「ある程度達成できている」＝4点、「どちらともいえない」＝3点、「あまり達成できていない」＝2点、「全く達成できていない」＝1点とした場合の平均得点。

図表 4-2-2 沖縄観光の各施策に対する“達成（非常に＋ある程度）”率（年度別）

		(%)		
		2024年度	2023年度	2022年度
5	温暖な気候等を活かして、野球やサッカーなど各種キャンプ・大会が盛んに行われていること	75.3	77.1	67.6
8	ウエディング、ショッピング、ダイビング、健康保養、卒業記念等、多種多様な目的も兼ねながら観光客が沖縄を訪れていること	66.1	65.2	59.7
2	文化・芸能・世界遺産などの魅力ある沖縄文化が、保全・継承され、観光資源として広く活用されていること	58.7	58.1	54.3
6	サッカーやバスケットボールなどの地元チームを活用し、県民と観光客が一体となって楽しんでいること	58.5	61.7	50.2
7	国内外の学生、生徒、教育関係者などが教育旅行で沖縄を訪れていること	56.2	57.1	61.7
3	「空手発祥の地・沖縄」を世界に発信し、世界中の空手愛好家が沖縄を訪れていること	51.6	57.0	49.7
14	決済手段が多様で、観光客が消費しやすい環境が整備されていること（クレジットカード決済、モバイル決済等）	48.2	46.6	40.4
11	空港機能が強化されることにより、国内外の航空路線の拡充が行われ、県民や観光客の交通の便が良くなること	45.7	47.2	48.6
27	観光客の県内消費額を向上するため、沖縄独自の魅力を活かした商品・サービスが増えること	38.4	39.5	39.2
1	沖縄の豊かな自然環境に配慮し、環境と共生した持続可能な観光が推進されていること	37.9	37.4	44.3
12	クルーズ船の寄港に対応する港湾施設の機能が強化され、クルーズ船による観光客が更に増えること	37.5	37.5	38.7
19	県内離島への観光が促進されていること	37.4	39.3	39.6
4	県内各地域の特性を踏まえた沖縄らしい風景や町並みが適切に保全され、良好な景観が形成されていること	36.9	38.7	43.4
34	直行便が就航している東アジア地域（台湾、韓国、中国本土、香港）の誘客を拡大すること	35.9	34.7	33.5
17	観光情報を入力できる観光案内所や観光案内板等が多言語対応で整備されていること	33.3	33.4	34.7
10	各地域において、その地域の特色を活かした観光誘客活動が行われていること	33.2	33.3	37.7
9	M I C E を国内外から呼び込み、多くの方が沖縄を訪れていること	31.5	31.9	37.1
20	宿泊施設について客室単価の向上を図りながら、沖縄全体の宿泊供給量が増加していくこと	30.7	34.7	36.2
28	外国人観光客の県内消費額を向上するため、日本ブランドの魅力を活かした商品・サービスが増えること	29.2	29.4	31.2
18	観光客が無料WiFiに接続出来る環境があること	28.1	28.7	32.3
24	県民がホスピタリティ（人への直接的なもてなしの精神のみならず、町の清掃活動等も含む）にあふれていること	26.7	29.0	33.6
21	外国人観光客への対応能力を向上するため、外国語に長けた人材や語学力など専門的な知識や技術を有する外国人が観光産業に従事していること	24.4	25.5	28.8
22	観光従事者一人ひとりが沖縄観光を代表する存在として、観光客に責任を持って対応できていること	24.1	26.8	31.1
13	クルーズ船の寄港先が分散され、バス、タクシー等が一部地域に集中することによる負荷の低減や、観光地の分散化等が図られていること	23.5	24.4	32.8
32	国内の沖縄旅行未経験者の誘客に取り組むこと	21.0	20.0	27.4
30	年間を通して観光収入を安定的に確保するため、閑散期の誘客に取り組むこと	20.9	19.0	28.2
33	国内外の富裕層の誘客に取り組むこと	20.7	19.2	25.8
35	一部直行便が就航した東南アジア地域（タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム等）からの航空路線の安定化と拡充に積極的に取り組み、誘客を強化すること	20.6	19.9	27.5
42	入域観光客数の目標設定など、客観指標に基づいた政策決定が行われていること	20.2	21.4	26.6
23	今後の沖縄観光の持続的な振興を担う高度な経営人材を育成し、多様化・高度化する観光客のニーズに対応できていること	20.0	20.6	29.4
40	観光産業がもたらす県経済への波及効果などを県民にわかり易く発信し、観光の意義や効果について県民の理解を促進すること	18.7	19.0	26.9
29	観光客の県内消費額を向上するため、滞在日数が向上するような取組を実施すること	18.7	19.4	28.5
25	高齢であることや障害の有無などにかかわらず、県民、観光客誰もが快適に過ごせる環境が整っていること	18.2	20.9	28.1
38	海外市場において効果的な誘客活動を行うため、海外メディアやウェブサイト・SNS等を通じた情報発信、ロケ作品を通じたプロモーション、海外事務所と連携した誘客活動等に取り組むこと	17.7	17.2	26.5
41	次世代を担う県内の児童生徒に対し観光産業の重要性について理解を深めること	17.5	15.8	26.1
39	観光関係者間、地域間、他分野間などの協働の場づくりを推進すること	17.5	17.6	25.6
37	沖縄の優位性を活かし、競合地との差別化を図るため、沖縄観光ブランド「Be.Okinawa」を国内外に発信すること	17.5	16.3	26.8
31	沖縄観光の高度化、国際化等の変化に対応するため、これまで以上にきめ細かいデータの収集と分析について取り組むこと	16.6	19.8	25.9
15	県民や観光客が渋滞に巻き込まれずに目的地まで円滑に移動できること	16.4	18.6	24.3
16	観光客が、不慣れな道路環境等の理由によるレンタカーでの交通事故発生等のトラブル防止の対策がとられていること	14.8	16.4	22.9
36	旅行市場が成熟し長期滞在が期待できる欧米等のリゾート需要を取り込むこと	14.5	14.2	27.7
26	地震、津波等大規模災害や根拠の乏しい情報を起因とする風評被害への対応方針が整っていること	14.3	15.1	23.8

図表 4-2-3 沖縄観光の各施策に対する“達成（非常に＋ある程度）”率（地域別）【2024年度】

	(%)					
	北部	中部	那覇市	南部	宮古	八重山
5 温暖な気候を活かして、野球やサッカーなど各種キャンプ・大会が盛んに行われていること	79.8	77.2	76.3	72.6	67.6	59.3
8 フェスティング、ショッピング、ダイビング、健康保養、卒業記念等、多種多様な目的も兼ねながら観光客が沖縄を訪れていること	67.6	67.0	64.3	65.7	65.6	65.0
2 文化・芸能・世界遺産などの魅力ある沖縄文化が、保全・継承され、観光資源として広く活用されていること	59.2	61.5	56.9	58.8	43.4	50.7
6 サッカーやバスケットボールなどの地元チームを活用し、県民と観光客が一体となって楽しんでいること	56.4	63.7	58.1	55.4	39.9	39.1
7 国内外の学生、生徒、教育関係者などが教育旅行で沖縄を訪れていること	57.5	55.2	58.6	56.8	53.6	49.6
3 「空手発祥の地・沖縄」を世界に発信し、世界中の空手愛好家が沖縄を訪れていること	43.8	50.8	58.3	57.5	31.7	31.0
14 決済手段が多様で、観光客が消費しやすい環境が整備されていること（クレジットカード決済、モバイル決済等）	49.8	51.3	44.5	46.1	47.1	41.7
11 空港機能が強化されることにより、国内外の航空路線の拡充が行われ、県民や観光客の交通の便が良くなること	47.7	45.7	44.8	47.8	45.8	36.2
27 観光客の県内消費額を向上するため、沖縄独自の魅力を活かした商品・サービスが増えること	42.3	39.2	35.9	38.3	34.2	38.5
1 沖縄の豊かな自然環境に配慮し、環境と共生した持続可能な観光が推進されていること	37.8	38.2	38.5	39.8	24.6	34.6
12 クルーズ船の寄港に対応する港湾施設の機能が強化され、クルーズ船による観光客が更に増えること	32.5	35.3	41.0	40.1	41.3	37.8
19 県内離島への観光が促進されていること	36.6	40.2	32.7	37.8	34.4	34.0
4 県内各地域の特性を踏まえた沖縄らしい風景や町並みが適切に保全され、良好な景観が形成されていること	36.0	36.8	37.6	39.9	23.9	34.4
34 直行便が就航している東アジア地域（台湾、韓国、中国本土、香港）の誘客を拡大すること	38.2	35.2	40.0	34.9	31.9	25.6
17 観光情報を入力できる観光案内所や観光案内板等多言語対応で整備されていること	36.3	34.6	32.4	33.3	23.9	25.3
10 各地域において、その地域の特徴を活かした観光誘客活動が行われていること	35.5	33.2	31.8	32.7	35.6	34.9
9 M I C E を国内外から呼び込み、多くの方が沖縄を訪れていること	33.9	32.3	28.7	33.7	28.3	26.0
20 宿泊施設について客室単価の向上を図りながら、沖縄全体の宿泊供給量が増加していくこと	32.6	32.5	26.8	30.7	28.6	30.8
28 外国人観光客の県内消費額を向上するため、日本ブランドの魅力を活かした商品・サービスが増えること	32.1	29.6	27.1	30.7	23.9	27.2
18 観光客が無料Wi-Fiに接続出来る環境があること	29.7	30.1	24.6	27.4	23.0	30.2
24 県民がホスピタリティ（人への直接的なもてなしの精神のみならず、町の清掃活動等も含む）にあふれていること	29.3	26.2	27.4	26.9	24.8	22.8
21 外国人観光客への対応能力を向上するため、外国語に長けた人材や語学力など専門的な知識や技術を有する外国人が観光産業に従事していること	30.9	24.3	22.0	26.2	18.3	20.1
22 観光従事者一人ひとりが沖縄観光を代表する存在として、観光客に責任を持って対応できていること	24.3	24.5	23.9	25.2	19.1	18.6
13 クルーズ船の寄港先が分散され、バス、タクシー等が一部地域に集中することによる負荷の低減や、観光地の分散化等が図られていること	24.7	23.7	22.5	24.8	24.5	18.0
32 国内の沖縄旅行未経験者の誘客に取り組むこと	18.1	21.0	20.6	24.2	19.1	16.6
30 年間を通して観光収入を安定的に確保するため、閑散期の誘客に取り組むこと	20.3	20.5	21.3	24.4	15.6	13.7
33 国内外の富裕層の誘客に取り組むこと	17.6	21.9	21.0	20.6	20.1	12.9
35 一部直行便が就航した東南アジア地域（タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム等）からの航空路線の安定化と拡充に積極的に取り組み、誘客を強化すること	23.3	20.2	21.8	22.4	17.2	8.0
42 入域観光客数の目標設定など、客観指標に基づいた政策決定が行われていること	20.8	19.9	19.4	24.4	13.9	12.7
23 今後の沖縄観光の持続的な振興を担う高度な経営人材を育成し、多様化・高度化する観光客のニーズに対応できていること	19.5	21.7	17.0	22.1	16.1	12.7
40 観光産業がもたらす県経済への波及効果などを県民にわかり易く発信し、観光の意義や効果について県民の理解を促進すること	18.9	19.1	15.0	24.2	14.9	11.6
29 観光客の県内消費額を向上するため、滞在日数が向上するような取組を実施すること	22.7	17.4	17.6	22.9	14.5	14.0
25 高齢であることや障害の有無などにかかわらず、県民、観光客誰もが快適に過ごせる環境が整っていること	20.8	19.0	15.2	19.1	16.4	17.0
38 海外市場において効果的な誘客活動を行うため、海外メディアやウェブサイト・SNS等を通じた情報発信、ロゴ作品を通じたプロモーション、海外事務所と連携した誘客活動等に取り組むこと	18.8	18.0	16.9	19.8	10.3	11.9
41 次世代を担う県内の児童生徒に対し観光産業の重要性について理解を深めること	19.3	18.1	15.3	20.6	11.3	9.6
39 観光関係者間、地域間、他分野間などの協働の場づくりを推進すること	20.1	16.7	17.4	19.0	19.5	12.0
37 沖縄の優位性を活かし、競合地との差別化を図るため、沖縄観光ブランド「Be.Okinawa」を国内外に発信すること	21.1	16.4	17.7	19.4	16.4	11.5
31 沖縄観光の高度化、国際化等の変化に対応するため、これまで以上にきめ細かいデータの収集と分析について取り組むこと	17.7	16.1	14.9	20.9	14.1	9.5
15 県民や観光客が渋滞に巻き込まれずに目的地まで円滑に移動できること	18.1	14.7	14.2	19.0	24.2	23.9
16 観光客が、不慣れた道路環境等の理由によるレンタカーでの交通事故発生等のトラブル防止の対策がとられていること	14.1	13.9	13.1	19.6	13.1	13.5
36 旅行市場が成熟し長期滞在が期待できる欧米等のリゾート需要を取り込むこと	15.8	14.9	12.4	17.5	9.9	9.3
26 地震、津波等大規模災害や根拠の乏しい情報を起因とする風評被害への対応方針が整っていること	16.4	14.7	11.8	16.3	9.9	13.8

図表 4-2-4 沖縄観光の各施策に対する“達成（非常に＋ある程度）”率（地域別）【2023年度】

	北部	中部	那覇市	南部	宮古	八重山
5 温暖な気候等を活かして、野球やサッカーなど各種キャンプ・大会が盛んに行われていること	80.5	78.7	79.0	73.7	64.6	69.0
8 ウェディング、ショッピング、ダイビング、健康保養、卒業記念等、多種多様な目的も兼ねながら観光客が沖縄を訪れていること	74.6	63.1	67.1	66.4	55.8	61.7
6 サッカーやバスケットボールなどの地元チームを活用し、県民と観光客が一体となって楽しんでいること	61.7	63.9	62.1	62.0	50.0	43.9
2 文化・芸能・世界遺産などの魅力ある沖縄文化が、保全・継承され、観光資源として広く活用されていること	55.4	57.2	60.6	61.8	48.7	52.6
7 国内外の学生、生徒、教育関係者などが教育旅行で沖縄を訪れていること	60.4	55.1	61.4	58.4	45.1	55.2
3 「空手発祥の地・沖縄」を世界に発信し、世界中の空手愛好家が沖縄を訪れていること	49.7	57.3	66.8	56.2	41.8	33.7
11 空港機能が強化されることにより、国内外の航空路線の拡充が行われ、県民や観光客の交通の便が良くなること	44.0	49.0	48.2	44.6	50.7	37.4
14 決済手段が多様で、観光客が消費しやすい環境が整備されていること（クレジットカード決済、モバイル決済等）	40.8	48.9	46.0	46.4	40.5	44.1
27 観光客の県内消費額を向上するため、沖縄独自の魅力を活かした商品・サービスが増えること	39.5	40.0	39.2	39.1	36.7	40.3
19 県内離島への観光が促進されていること	35.6	40.1	41.7	38.1	33.4	35.6
4 県内各地域の特性を踏まえた沖縄らしい風景や町並みが適切に保全され、良好な景観が形成されていること	37.1	39.6	41.0	36.7	27.4	40.8
12 クルーズ船の寄港に対応する港湾施設の機能が強化され、クルーズ船による観光客が更に増えること	27.5	36.1	44.6	34.7	49.4	38.9
1 沖縄の豊かな自然環境に配慮し、環境と共生した持続可能な観光が推進されていること	38.7	39.3	36.9	35.8	28.8	31.4
20 宿泊施設について客室単価の向上を図りながら、沖縄全体の宿泊供給量が増加していくこと	30.6	36.3	34.7	34.6	30.6	29.9
34 直行便が就航している東アジア地域（台湾、韓国、中国本土、香港）の誘客を拡大すること	29.6	37.1	38.0	32.8	23.2	19.9
17 観光情報を入力できる観光案内所や観光案内板等が多言語対応で整備されていること	32.0	35.7	33.9	32.6	23.3	22.2
10 各地域において、その地域の特色を活かした観光誘客活動が行われていること	34.2	31.8	36.5	30.7	36.7	38.8
9 M I C E を国内外から呼び込み、多くの方が沖縄を訪れていること	34.4	32.5	33.7	27.3	31.5	31.1
28 外国人観光客の県内消費額を向上するため、日本ブランドの魅力を活かした商品・サービスが増えること	23.5	31.8	28.8	29.2	22.4	26.3
24 県民がスタビリティ（人への直接的なもてなしの精神のみならず、町の清掃活動等も含む）にあふれていること	31.4	28.8	28.1	30.5	23.1	28.9
18 観光客が無料Wi-Fiに接続出来る環境があること	25.5	29.1	33.1	26.8	21.5	22.6
22 観光従事者一人ひとりが沖縄観光を代表する存在として、観光客に責任を持って対応できていること	21.1	27.7	30.1	25.5	24.3	19.7
21 外国人観光客への対応能力を向上するため、外国語に長けた人材や語学力など専門的な知識や技術を有する外国人が観光産業に従事していること	23.4	26.6	28.4	23.5	18.9	18.4
13 クルーズ船の寄港先が分散され、バス、タクシー等が一部地域に集中することによる負荷の低減や、観光地の分散化等が図られていること	22.7	24.2	25.8	24.8	26.3	18.0
42 入域観光客数の目標設定など、客観指標に基づいた政策決定が行われていること	19.7	22.3	21.4	21.6	18.8	17.2
25 高齢であることや障害の有無などにかかわらず、県民、観光客誰もが快適に過ごせる環境が整っていること	23.4	21.5	20.9	19.8	19.0	16.3
23 今後の沖縄観光の持続的な振興を担う高度な経営人材を育成し、多様化・高度化する観光客のニーズに対応できていること	18.7	21.0	21.1	22.0	14.5	15.9
32 国内の沖縄旅行未経験者の誘客に取り組むこと	15.5	21.3	20.6	19.8	18.7	16.3
35 一部直行便が就航した東南アジア地域（タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム等）からの航空路線の安定化と拡充に積極的に取り組み、誘客を強化すること	17.0	21.9	21.3	18.4	13.5	8.8
31 沖縄観光の高度化、国際化等の変化に対応するため、これまで以上にきめ細かいデータの収集と分析について取り組むこと	16.4	20.6	20.2	21.7	13.9	13.1
29 観光客の県内消費額を向上するため、滞在日数が向上するような取組を実施すること	16.0	20.7	19.0	19.9	14.5	16.3
33 国内外の富裕層の誘客に取り組むこと	17.0	20.8	19.0	18.0	19.4	12.7
40 観光産業がもたらす県経済への波及効果などを県民にわかり易く発信し、観光の意義や効果について県民の理解を促進すること	13.7	20.7	18.8	18.8	16.9	15.9
30 年間を通して観光収入を安定的に確保するため、閑散期の誘客に取り組むこと	16.2	20.8	18.5	17.6	17.7	15.6
15 県民や観光客が渋滞に巻き込まれずに目的地まで円滑に移動できること	20.1	16.8	17.9	20.3	24.5	24.2
39 観光関係者間、地域間、他分野間などの協働の場づくりを推進すること	15.5	18.0	18.1	19.1	11.1	13.6
38 海外市場において効果的な誘客活動を行うため、海外メディアやウェブサイト・SNS等を選じた情報発信、ロゴ作品を通じたプロモーション、海外事務所と連携した誘客活動等に取り組むこと	14.6	17.9	18.0	16.8	12.8	17.2
16 観光客が、不慣れな道路環境等の理由によるレンタカーでの交通事故発生等のトラブル防止の対策がとられていること	15.1	17.4	16.0	15.1	17.4	16.1
37 沖縄の優位性を活かし、競合地との差別化を図るため、沖縄観光ブランド「Be.Okinawa」を国内外に発信すること	12.9	17.5	14.4	18.7	13.8	12.8
41 次世代を担う県内の児童生徒に対し観光産業の重要性について理解を深めること	11.7	16.4	16.2	15.8	15.7	15.6
26 地震、津波等大規模災害や根拠の乏しい情報を起因とする風評被害への対応方針が整っていること	12.5	15.9	14.4	16.2	11.1	13.7
36 旅行市場が成熟し長期滞在が期待できる欧米等のリゾート需要を取り込むこと	13.9	15.2	14.2	13.4	8.7	12.8

図表 4-2-5 沖縄観光の各施策に対する“達成（非常に＋ある程度）”率（性別）

		(%)	
		男性	女性
5	温暖な気候を活かして、野球やサッカーなど各種キャンプ・大会が盛んに行われていること	74.5	76.6
8	ウエディング、ショッピング、ダイビング、健康保養、卒業記念等、多種多様な目的も兼ねながら観光客が沖縄を訪れていること	61.1	71.3
2	文化・芸能・世界遺産などの魅力ある沖縄文化が、保全・継承され、観光資源として広く活用されていること	55.9	62.2
6	サッカーやバスケットボールなどの地元チームを活用し、県民と観光客が一体となって楽しんでいること	58.1	59.1
7	国内外の学生、生徒、教育関係者などが教育旅行で沖縄を訪れていること	52.3	59.8
3	「空手発祥の地・沖縄」を世界に発信し、世界中の空手愛好家が沖縄を訪れていること	50.8	53.0
14	決済手段が多様で、観光客が消費しやすい環境が整備されていること（クレジットカード決済、モバイル決済等）	45.2	51.3
11	空港機能が強化されることにより、国内外の航空路線の拡充が行われ、県民や観光客の交通の便が良くなること	44.6	47.5
27	観光客の県内消費額を向上するため、沖縄独自の魅力を活かした商品・サービスが増えること	36.4	39.8
1	沖縄の豊かな自然環境に配慮し、環境と共生した持続可能な観光が推進されていること	37.0	39.2
12	クルーズ船の寄港に対応する港湾施設の機能が強化され、クルーズ船による観光客が更に増えること	37.8	37.6
19	県内離島への観光が促進されていること	36.7	38.4
4	県内各地域の特性を踏まえた沖縄らしい風景や町並みが適切に保全され、良好な景観が形成されていること	35.4	38.8
34	直行便が就航している東アジア地域（台湾、韓国、中国本土、香港）の誘客を拡大すること	34.0	37.7
17	観光情報を入力できる観光案内所や観光案内板等が多言語対応で整備されていること	32.7	33.8
10	各地域において、その地域の特色を活かした観光誘客活動が行われていること	32.1	34.3
9	M I C E を国内外から呼び込み、多くの方が沖縄を訪れていること	30.4	33.1
20	宿泊施設について客室単価の向上を図りながら、沖縄全体の宿泊供給量が増加していくこと	29.3	32.4
28	外国人観光客の県内消費額を向上するため、日本ブランドの魅力を活かした商品・サービスが増えること	28.0	30.1
18	観光客が無料W i - F i に接続出来る環境があること	25.6	30.7
24	県民がホスピタリティ（人への直接的なもてなしの精神のみならず、町の清掃活動等も含む）にあふれていること	25.6	27.5
21	外国人観光客への対応能力を向上するため、外国語に長けた人材や語学力など専門的な知識や技術を有する外国人が観光産業に従事していること	22.4	26.5
22	観光従事者一人ひとりが沖縄観光を代表する存在として、観光客に責任を持って対応できていること	22.7	25.4
13	クルーズ船の寄港先が分散され、バス、タクシー等が一部地域に集中することによる負荷の低減や、観光地の分散化等が図られていること	23.3	24.0
32	国内の沖縄旅行未経験者の誘客に取り組むこと	20.6	21.3
30	年間を通して観光収入を安定的に確保するため、閑散期の誘客に取り組むこと	19.4	22.3
33	国内外の富裕層の誘客に取り組むこと	19.9	21.2
35	一部直行便が就航した東南アジア地域（タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム等）からの航空路線の安定化と拡充に積極的に取り組み、誘客を強化すること	20.1	21.1
42	入域観光客数の目標設定など、客観指標に基づいた政策決定が行われていること	21.5	18.7
23	今後の沖縄観光の持続的な振興を担う高度な経営人材を育成し、多様化・高度化する観光客のニーズに対応できていること	20.5	19.5
40	観光産業がもたらす県経済への波及効果などを県民にわかり易く発信し、観光の意義や効果について県民の理解を促進すること	19.1	18.5
29	観光客の県内消費額を向上するため、滞在日数が向上するような取組を実施すること	17.9	19.3
25	高齢であることや障害の有無などにかかわらず、県民、観光客誰もが快適に過ごせる環境が整っていること	18.9	17.0
38	海外市場において効果的な誘客活動を行うため、海外メディアやウェブサイト・SNS等を通じた情報発信、ロケ作品を通じたプロモーション、海外事務所と連携した誘客活動等に取り組むこと	17.4	17.5
41	次世代を担う県内の児童生徒に対し観光産業の重要性について理解を深めること	16.9	17.8
39	観光関係者間、地域間、他分野間などの協働の場づくりを推進すること	17.7	17.3
37	沖縄の優位性を活かし、競合地との差別化を図るため、沖縄観光ブランド「Be. Okinawa」を国内外に発信すること	18.6	16.2
31	沖縄観光の高度化、国際化等の変化に対応するため、これまで以上にきめ細かいデータの収集と分析について取り組むこと	15.9	17.0
15	県民や観光客が渋滞に巻き込まれずに目的地まで円滑に移動できること	16.3	16.3
16	観光客が、不慣れな道路環境等の理由によるレンタカーでの交通事故発生等のトラブル防止の対策がとられていること	15.1	14.3
36	旅行市場が成熟し長期滞在が期待できる欧米等のリゾート需要を取り込むこと	13.4	15.3
26	地震、津波等大規模災害や根拠の乏しい情報を起因とする風評被害への対応方針が整っていること	14.6	14.0

図表 4-2-6 沖縄観光の各施策に対する“達成（非常に＋ある程度）”率（年代別）

		(%)						
		10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代
5	温暖な気候等を活かして、野球やサッカーなど各種キャンプ・大会が盛んに行われていること	75.5	73.1	72.9	75.2	76.7	77.4	77.0
8	ウェディング、ショッピング、ダイビング、健康保養、卒業記念等、多種多様な目的も兼ねながら観光客が沖縄を訪れていること	76.2	76.5	66.1	68.2	65.0	57.1	54.4
2	文化・芸能・世界遺産などの魅力ある沖縄文化が、保全・継承され、観光資源として広く活用されていること	68.8	66.5	52.6	59.0	53.0	57.1	61.7
6	サッカーやバスケットボールなどの地元チームを活用し、県民と観光客が一体となって楽しんでいること	59.3	66.7	54.9	62.2	60.7	51.7	50.7
7	国内外の学生、生徒、教育関係者などが教育旅行で沖縄を訪れていること	67.1	65.5	55.0	57.3	53.1	48.3	51.9
3	「空手発祥の地・沖縄」を世界に発信し、世界中の空手愛好家が沖縄を訪れていること	51.5	43.9	39.9	52.1	56.1	56.5	66.1
14	決済手段が多様で、観光客が消費しやすい環境が整備されていること（クレジットカード決済、モバイル決済等）	56.7	52.6	51.8	49.8	48.6	40.5	36.7
11	空港機能が強化されることにより、国内外の航空路線の拡充が行われ、県民や観光客の交通の便が良くなること	45.8	44.3	39.6	44.2	51.1	47.0	49.1
27	観光客の県内消費額を向上するため、沖縄独自の魅力を活かした商品・サービスが増えること	57.9	53.6	38.9	37.2	29.3	29.5	32.5
1	沖縄の豊かな自然環境に配慮し、環境と共生した持続可能な観光が推進されていること	51.0	45.2	36.0	34.1	32.8	33.2	44.6
12	クルーズ船の寄港に対応する港湾施設の機能が強化され、クルーズ船による観光客が更に増えること	43.6	41.7	31.2	37.7	40.3	33.7	37.2
19	県内離島への観光が促進されていること	45.0	43.0	38.7	33.2	33.0	35.6	39.9
4	県内各地域の特性を踏まえた沖縄らしい風景や町並みが適切に保全され、良好な景観が形成されていること	53.0	47.2	35.6	37.2	30.0	27.6	38.9
34	直行便が就航している東アジア地域（台湾、韓国、中国本土、香港）の誘客を拡大すること	46.5	42.8	37.4	36.7	31.3	29.5	32.2
17	観光情報を入手できる観光案内所や観光案内板等が多言語対応で整備されていること	52.9	46.0	37.2	33.7	22.8	23.6	25.8
10	各地域において、その地域の特色を活かした観光誘客活動が行われていること	49.5	42.8	34.3	32.9	27.0	26.6	25.9
9	M I C E を国内外から呼び込み、多くの方が沖縄を訪れていること	47.5	36.6	26.6	31.1	30.7	29.2	24.6
20	宿泊施設について客室単価の向上を図りながら、沖縄全体の宿泊供給量が増加していくこと	45.7	33.8	28.1	25.5	28.0	30.3	34.5
28	外国人観光客の県内消費額を向上するため、日本ブランドの魅力を活かした商品・サービスが増えること	49.9	38.7	28.6	28.2	24.4	20.7	23.5
18	観光客が無料Wi-Fiに接続出来る環境があること	43.5	32.4	29.5	25.9	23.9	23.3	26.8
24	県民がホスピタリティ（人への直接的なもてなしの精神のみならず、町の清掃活動等も含む）にあふれていること	46.8	32.9	25.8	27.6	21.5	20.5	19.6
21	外国人観光客への対応能力を向上するため、外国語に長けた人材や語学力など専門的な知識や技術を有する外国人が観光産業に従事していること	42.8	31.5	23.7	24.1	20.3	17.1	19.2
22	観光従事者一人ひとりが沖縄観光を代表する存在として、観光客に責任を持って対応できていること	47.1	33.0	23.1	20.9	19.7	16.2	20.5
13	クルーズ船の寄港先が分散され、バス、タクシー等が一部地域に集中することによる負荷の低減や、観光地の分散化等が図られていること	37.7	22.9	19.1	23.3	22.4	21.2	27.2
32	国内の沖縄旅行未経験者の誘客に取り組むこと	37.7	25.1	16.1	19.5	15.5	19.6	25.3
30	年間を通して観光収入を安定的に確保するため、閑散期の誘客に取り組むこと	32.9	22.6	19.4	20.2	19.9	18.9	17.2
33	国内外の富裕層の誘客に取り組むこと	38.7	24.6	19.6	24.3	17.4	13.6	12.2
35	一部直行便が就航した東南アジア地域（タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム等）からの航空路線の安定化と拡充に積極的に取り組み、誘客を強化すること	35.9	24.2	21.1	21.9	16.6	14.5	16.9
42	入域観光客数の目標設定など、客観指標に基づいた政策決定が行われていること	38.2	23.8	16.0	19.5	15.4	20.0	17.4
23	今後の沖縄観光の持続的な振興を担う高度な経営人材を育成し、多様化・高度化する観光客のニーズに対応できていること	45.7	28.4	18.9	17.9	13.8	13.4	14.1
40	観光産業がもたらす県経済への波及効果などを県民にわかりやすく発信し、観光の意義や効果について県民の理解を促進すること	40.0	20.8	16.8	18.8	13.8	16.0	14.2
29	観光客の県内消費額を向上するため、滞在日数が向上するような取組を実施すること	33.1	21.3	16.6	16.9	13.7	18.5	19.5
25	高齢であることや障害の有無などにかかわらず、県民、観光客誰もが快適に過ごせる環境が整っていること	41.8	25.9	17.9	14.6	14.4	12.4	10.5
38	海外市場において効果的な誘客活動を行うため、海外メディアやウェブサイト・SNS等を通じた情報発信、ロケ作品を通じたプロモーション、海外事務所と連携した誘客活動等に取り組むこと	37.2	23.6	13.1	20.4	13.0	12.0	12.6
41	次世代を担う県内の児童生徒に対し観光産業の重要性について理解を深めること	41.6	21.9	16.0	17.2	11.8	11.8	13.8
39	観光関係者間、地域間、他分野間などの協働の場づくりを推進すること	35.8	22.9	14.5	18.4	12.0	13.9	13.2
37	沖縄の優位性を活かし、競合地との差別化を図るため、沖縄観光ブランド「Be. Okinawa」を国内外に発信すること	34.1	18.1	13.2	19.4	14.8	14.3	16.3
31	沖縄観光の高度化、国際化等の変化に対応するため、これまで以上にきめ細かいデータの収集と分析について取り組むこと	34.0	16.8	13.7	15.9	13.1	15.8	15.3
15	県民や観光客が渋滞に巻き込まれずに目的地まで円滑に移動できること	25.1	16.1	12.0	13.7	14.5	16.8	26.0
16	観光客が、不慣れな道路環境等の理由によるレンタカーでの交通事故発生等のトラブル防止の対策がとられていること	28.1	13.4	10.6	11.1	14.3	15.2	20.4
36	旅行市場が成熟し長期滞在が期待できる欧米等のリゾート需要を取り込むこと	31.0	16.4	13.1	16.0	9.3	11.9	11.2
26	地震、津波等大規模災害や根拠の乏しい情報を起因とする風評被害への対応方針が整っていること	30.0	19.7	12.2	12.5	10.5	11.9	11.1

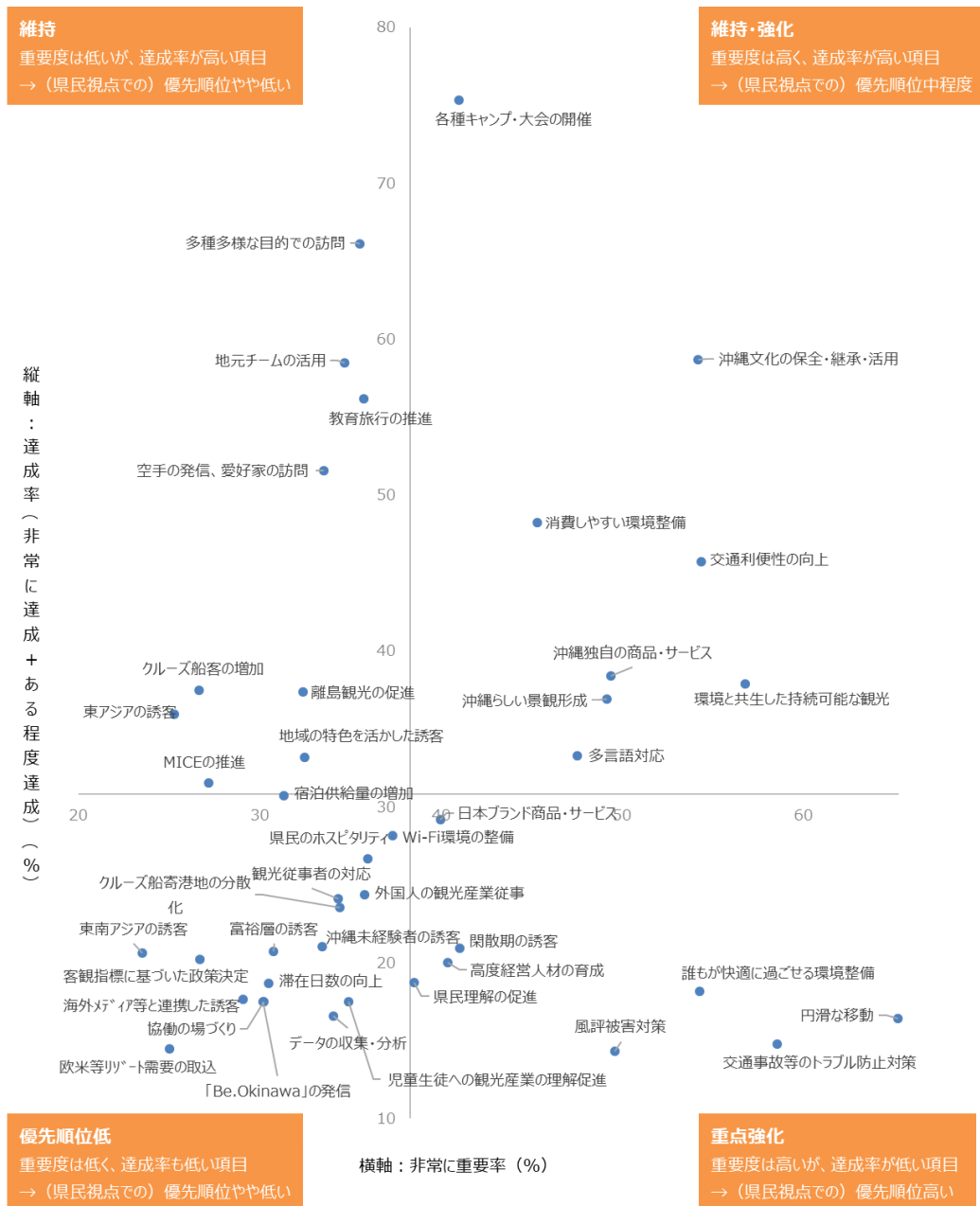
図表 4-2-7 沖縄観光の各施策に対する“達成（非常に＋ある程度）”率（観光客と接する機会別）

		(%)		
		日常業務の一環	日常生活のコミュニケーション	機会なし
5	温暖な気候等を活かして、野球やサッカーなど各種キャンプ・大会が盛んに行われていること	78.2	76.0	74.3
8	ウエディング、ショッピング、ダイビング、健康保養、卒業記念等、多種多様な目的も兼ねながら観光客が沖縄を訪れていること	71.7	70.9	63.2
2	文化・芸能・世界遺産などの魅力ある沖縄文化が、保全・継承され、観光資源として広く活用されていること	58.6	57.7	58.8
6	サッカーやバスケットボールなどの地元チームを活用し、県民と観光客が一体となって楽しんでいること	59.1	59.6	58.4
7	国内外の学生、生徒、教育関係者などが教育旅行で沖縄を訪れていること	57.2	62.8	54.1
3	「空手発祥の地・沖縄」を世界に発信し、世界中の空手愛好家が沖縄を訪れていること	50.6	51.3	52.1
14	決済手段が多様で、観光客が消費しやすい環境が整備されていること（クレジットカード決済、モバイル決済等）	51.6	46.5	48.0
11	空港機能が強化されることにより、国内外の航空路線の拡充が行われ、県民や観光客の交通の便が良くなること	45.5	45.8	45.7
27	観光客の県内消費額を向上するため、沖縄独自の魅力を活かした商品・サービスが増えること	38.0	41.1	37.9
1	沖縄の豊かな自然環境に配慮し、環境と共生した持続可能な観光が推進されていること	37.5	40.5	37.5
12	クルーズ船の寄港に対応する港湾施設の機能が強化され、クルーズ船による観光客が更に増えること	38.2	41.9	35.7
19	県内離島への観光が促進されていること	38.5	36.6	37.4
4	県内各地域の特性を踏まえた沖縄らしい風景や町並みが適切に保全され、良好な景観が形成されていること	39.0	37.3	36.3
34	直行便が就航している東アジア地域（台湾、韓国、中国本土、香港）の誘客を拡大すること	40.7	39.2	33.6
17	観光情報を入力できる観光案内所や観光案内板等が多言語対応で整備されていること	38.5	32.7	32.0
10	各地域において、その地域の特色を活かした観光誘客活動が行われていること	35.1	38.5	30.4
9	M I C Eを国内外から呼び込み、多くの方が沖縄を訪れていること	34.5	32.6	30.5
20	宿泊施設について客室単価の向上を図りながら、沖縄全体の宿泊供給量が増加していくこと	32.1	31.6	29.9
28	外国人観光客の県内消費額を向上するため、日本ブランドの魅力を活かした商品・サービスが増えること	34.6	31.2	27.5
18	観光客が無料W i - F i に接続出来る環境があること	28.5	29.1	27.7
24	県民がホスピタリティ（人への直接的なもてなしの精神のみならず、町の清掃活動等も含む）にあふれていること	29.1	34.4	23.6
21	外国人観光客への対応能力を向上するため、外国語に長けた人材や語学力など専門的な知識や技術を有する外国人が観光産業に従事していること	27.5	28.5	22.4
22	観光従事者一人ひとりが沖縄観光を代表する存在として、観光客に責任を持って対応できていること	26.6	26.0	22.8
13	クルーズ船の寄港先が分散され、バス、タクシー等が一部地域に集中することによる負荷の低減や、観光地の分散化等が図られていること	20.6	27.4	22.7
32	国内の沖縄旅行未経験者の誘客に取り組むこと	20.3	22.8	20.2
30	年間を通して観光収入を安定的に確保するため、閑散期の誘客に取り組むこと	17.4	22.4	20.9
33	国内外の富裕層の誘客に取り組むこと	20.6	24.4	19.4
35	一部直行便が就航した東南アジア地域（タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム等）からの航空路線の安定化と拡充に積極的に取り組み、誘客を強化すること	19.1	23.0	19.9
42	入域観光客数の目標設定など、客観指標に基づいた政策決定が行われていること	17.1	21.8	20.3
23	今後の沖縄観光の持続的な振興を担う高度な経営人材を育成し、多様化・高度化する観光客のニーズに対応できていること	22.7	20.7	19.0
40	観光産業がもたらす県経済への波及効果などを県民にわかり易く発信し、観光の意義や効果について県民の理解を促進すること	15.1	19.7	19.1
29	観光客の県内消費額を向上するため、滞在日数が向上するような取組を実施すること	16.6	19.3	18.6
25	高齢であることや障害の有無などにかかわらず、県民、観光客誰もが快適に過ごせる環境が整っていること	18.0	18.4	17.9
38	海外市場において効果的な誘客活動を行うため、海外メディアやウェブサイト・SNS等を通じた情報発信、ロケ作品を通じたプロモーション、海外事務所と連携した誘客活動等に取り組むこと	17.3	20.0	16.8
41	次世代を担う県内の児童生徒に対し観光産業の重要性について理解を深めること	16.0	19.8	17.0
39	観光関係者間、地域間、他分野間などの協働の場づくりを推進すること	16.6	19.9	16.8
37	沖縄の優位性を活かし、競合地との差別化を図るため、沖縄観光ブランド「Be. Okinawa」を国内外に発信すること	14.1	21.0	17.0
31	沖縄観光の高度化、国際化等の変化に対応するため、これまで以上にきめ細かいデータの収集と分析について取り組むこと	14.6	19.4	15.5
15	県民や観光客が渋滞に巻き込まれずに目的地まで円滑に移動できること	16.2	16.7	16.0
16	観光客が、不慣れな道路環境等の理由によるレンタカーでの交通事故発生等のトラブル防止の対策がとられていること	12.7	16.9	13.9
36	旅行市場が成熟し長期滞在が期待できる欧米等のリゾート需要を取り込むこと	13.6	16.9	13.5
26	地震、津波等大規模災害や根拠の乏しい情報を起因とする風評被害への対応方針が整っていること	10.9	16.4	14.2

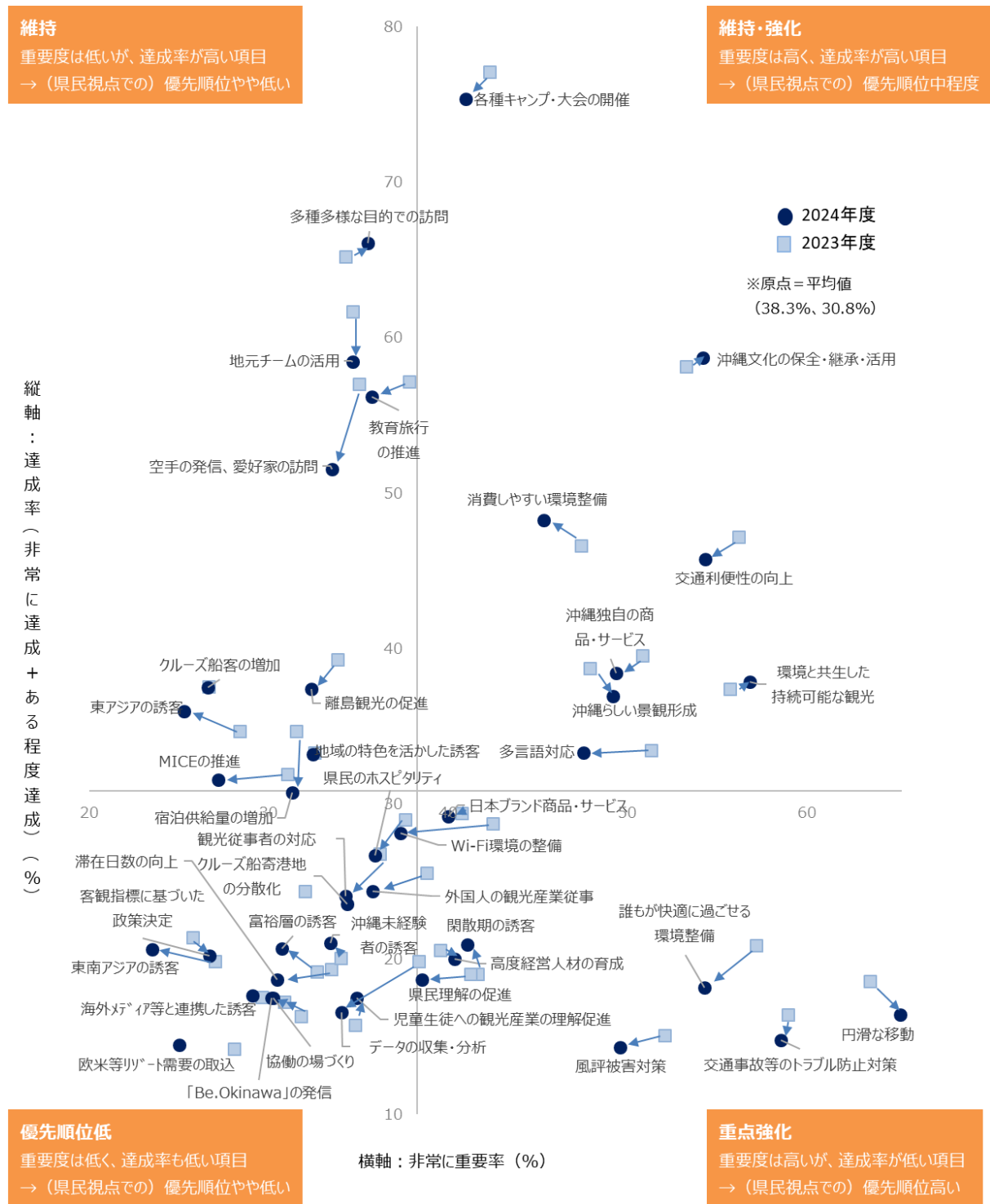
(3) 観光施策の重要度と達成度からみた県民ニーズ

- 「各種キャンプ・大会の開催」「沖縄文化の保全・継承・活用」「消費しやすい環境整備」「交通利便性の向上」等は、県民にとって重要度・達成率ともに高い項目であることから、現状の沖縄観光の強みとして、維持・強化していくことが必要である。一方、「交通事故等のトラブル防止対策」「円滑な移動」「誰もが快適に過ごせる環境整備」等は、県民にとって重要度が高いにもかかわらず達成率が低位に留まることから、県民ニーズが高い施策であると考えられる。
- 経年での変化をみると、「沖縄文化の保全・継承・活用」は年々重要度・達成度ともに上昇している。一方、「円滑な移動」は年々重要度が高まっているにもかかわらず、達成度は低下している。

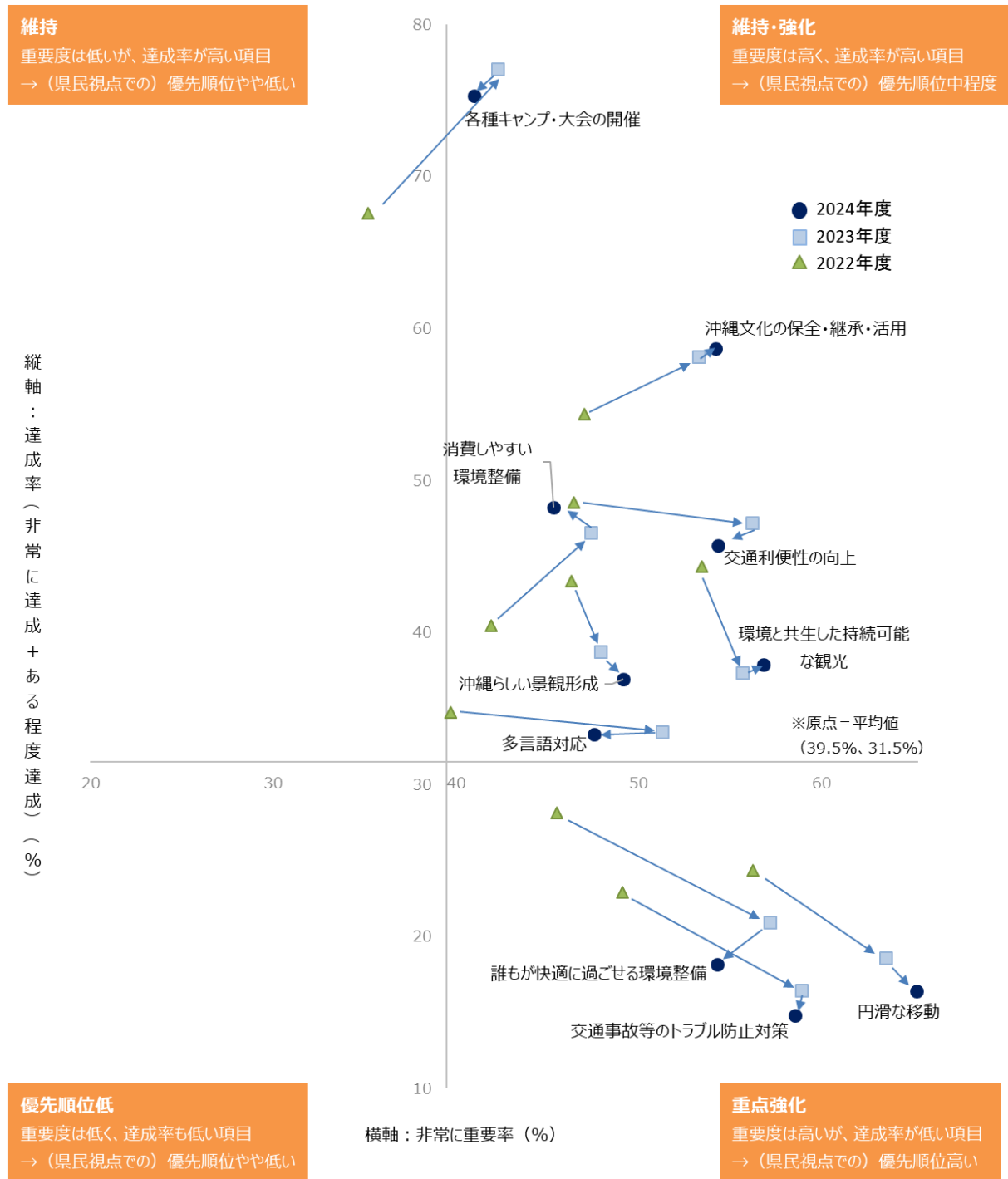
図表 4-3-1 沖縄観光の各施策の重要度と達成度の関係性



図表 4-3-2 沖縄観光の各施策の重要度と達成度の関係性(前回調査からの変化)



図表 4-3-3 沖縄観光の各施策の重要度と達成度の関係性（経年変化 ※一部項目のみ抜粋）



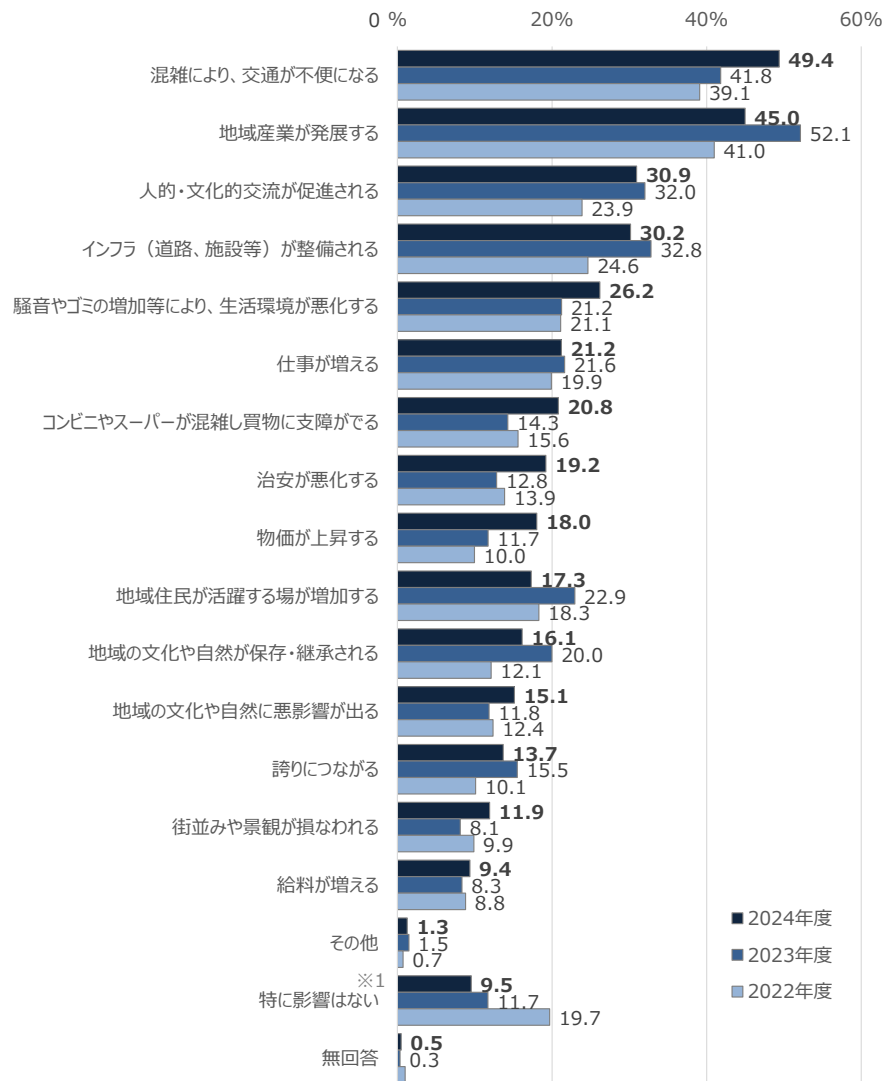
5. 観光客来訪による影響

(1) 観光客が訪れることによる影響

Q3 観光客が訪れることで、あなたの生活にどのような影響があると感じていますか。

- 観光客が訪れることによる影響としては、「混雑により、交通が不便になる」が 49.4%で 1 位となった。以下、「地域産業が発展する」45.0%、「人的・文化的交流が促進される」30.9%、「インフラ（道路、施設等）が整備される」30.2%、「騒音やゴミの増加等により、生活環境が悪化する」26.2%と続く。前回調査と比較すると「混雑により、交通が不便になる」（7.6 ポイント増）や「コンビニやスーパーが混雑し買物に支障がでる」（6.5 ポイント増）、「治安が悪化する」（6.4 ポイント増）、「物価が上昇する」（6.3 ポイント増）、「騒音やゴミの増加等により、生活環境が悪化する」（5.0 ポイント増）などのネガティブな影響が大きく増加している。
- 地域別でみると、“北部”、“中部”、“那覇市”では「混雑により、交通が不便になる」、「南部」では「地域産業が発展する」が 1 位であった。一方、“宮古”“八重山”では「コンビニやスーパーが混雑し買物に支障がでる」が 1 位となっており、地域によって生活への影響は異なっている。また、“宮古”“八重山”では「騒音やゴミの増加等により、生活環境が悪化する」「物価が上昇する」なども他の地域と比べて高い。
- 性別でみると、“男性”のほうが「物価が上昇する」「治安が悪化する」「混雑により、交通が不便になる」と回答した割合が高かった。
- 年代別にみると、「混雑により、交通が不便になる」は特に 30 代～50 代で高い傾向にある。
- 観光客と接する機会別では、“日常生活のコミュニケーション”で接する人は「混雑により、交通が不便になる」が高く、“日常業務の一環”で接する人は「仕事が増える」が高い。
- 観光発展への期待別では、“期待する派”は「地域産業が発展する」が特に高く半数以上が回答している。“期待しない派”は「混雑により、交通が不便になる」「騒音やゴミの増加等により、生活環境が悪化する」などマイナスの影響を懸念する人が多い。

図表 5-1-1 観光客が訪れることによる影響【複数回答】



※1：「その他」の自由記述で挙げられた内容：宿泊施設やレンタカーの予約が取れない／交通事故やルール違反が増える など

図表 5-1-2 観光客が訪れることによる影響（地域別）【複数回答】

2024年度 (%)

	北部	中部	那覇市	南部	宮古	八重山
混雑により、交通が不便になる	46.1	50.1	59.7	40.1	46.4	39.0
地域産業が発展する	42.5	44.7	49.8	45.6	30.6	38.2
人的・文化的交流が促進される	26.7	32.6	34.3	29.5	17.5	24.0
インフラ（道路、施設等）が整備される	30.8	30.9	30.8	31.1	19.9	22.2
騒音やゴミの増加等により、生活環境が悪化する	25.2	25.6	26.9	22.7	35.1	39.6
仕事が増える	23.7	19.1	21.9	22.6	19.1	30.9
コンビニやスーパーが混雑し買物に支障がでる	24.9	17.0	22.1	14.9	55.3	41.7
治安が悪化する	18.0	19.4	19.2	16.2	33.7	19.1
物価が上昇する	10.1	19.0	20.0	11.9	34.2	27.7
地域住民が活躍する場が増加する	20.3	16.5	16.9	21.0	9.0	13.2
地域の文化や自然が保存・継承される	12.8	16.3	20.2	16.0	7.0	9.8
地域の文化や自然に悪影響が出る	17.2	13.9	16.3	11.1	31.8	20.5
誇りにつながる	12.4	15.5	13.9	12.3	4.9	10.7
街並みや景観が損なわれる	12.3	10.5	12.9	8.0	31.9	21.2
給料が増える	9.2	8.5	9.9	9.4	12.4	12.7
その他	1.3	1.4	1.1	0.5	3.3	2.4
特に影響はない	12.1	9.4	7.5	11.5	8.5	8.9
無回答	0.5	0.7	0.0	0.5	0.0	1.2

2023年度 (%)

	北部	中部	那覇市	南部	宮古	八重山
混雑により、交通が不便になる	40.3	42.6	47.3	35.2	43.0	36.4
地域産業が発展する	48.4	54.7	52.6	53.2	27.6	47.3
人的・文化的交流が促進される	28.7	31.9	35.8	32.5	24.8	24.8
インフラ（道路、施設等）が整備される	32.6	33.9	33.1	33.8	22.1	24.4
騒音やゴミの増加等により、生活環境が悪化する	21.9	19.1	27.7	15.2	28.7	29.4
仕事が増える	28.2	20.8	20.1	21.2	19.9	28.4
コンビニやスーパーが混雑し買物に支障がでる	19.0	10.6	14.8	10.8	42.5	32.0
治安が悪化する	9.9	11.5	18.2	8.2	23.0	16.0
物価が上昇する	8.6	10.8	14.8	9.3	22.1	13.7
地域住民が活躍する場が増加する	26.9	22.4	21.9	25.3	17.9	19.8
地域の文化や自然が保存・継承される	19.9	20.5	21.9	20.6	9.6	10.6
地域の文化や自然に悪影響が出る	10.9	10.0	14.6	9.3	23.5	20.2
誇りにつながる	19.1	15.2	17.1	15.6	7.1	9.7
街並みや景観が損なわれる	7.6	6.8	10.1	5.7	19.7	14.1
給料が増える	9.3	7.4	9.2	8.4	5.5	15.0
その他	2.7	0.7	2.1	0.8	7.6	1.1
特に影響はない	15.0	11.2	10.4	12.7	15.3	9.4
無回答	1.0	0.4	0.0	0.2	0.4	0.0

図表 5-1-3 観光客が訪れることによる影響（性別）【複数回答】

(%)

	男性	女性
混雑により、交通が不便になる	50.7	47.6
地域産業が発展する	43.2	47.4
人的・文化的交流が促進される	31.2	31.1
インフラ（道路、施設等）が整備される	30.6	29.8
騒音やゴミの増加等により、生活環境が悪化する	26.3	25.9
仕事が増える	22.6	19.9
コンビニやスーパーが混雑し買物に支障がでる	20.4	21.1
治安が悪化する	21.4	16.8
物価が上昇する	21.8	14.2
地域住民が活躍する場が増加する	17.7	17.3
地域の文化や自然が保存・継承される	13.7	18.9
地域の文化や自然に悪影響が出る	16.5	13.6
誇りにつながる	11.4	16.2
街並みや景観が損なわれる	13.4	10.3
給料が増える	10.0	8.4
その他	1.2	1.4
特に影響はない	9.4	9.6
無回答	0.6	0.4

図表 5-1-4 観光客が訪れることによる影響（年代別）【複数回答】

	(%)						
	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代
混雑により、交通が不便になる	40.8	48.0	61.0	54.9	57.9	40.5	24.8
地域産業が発展する	40.9	47.7	41.6	46.2	45.2	47.4	43.2
人的・文化的交流が促進される	29.6	36.4	26.0	29.9	30.7	31.0	35.1
インフラ（道路、施設等）が整備される	16.2	27.3	30.0	28.6	33.4	34.4	36.6
騒音やゴミの増加等により、生活環境が悪化する	25.4	24.0	30.3	30.4	24.7	25.6	18.0
仕事が増える	14.7	26.0	28.2	27.2	17.8	15.9	10.2
コンビニやスーパーが混雑し買物に支障がでる	23.0	20.2	26.8	23.0	21.8	15.5	11.7
治安が悪化する	19.0	21.9	20.1	23.4	15.6	17.4	15.0
物価が上昇する	12.8	16.1	21.5	21.7	21.2	14.4	11.7
地域住民が活躍する場が増加する	6.7	19.2	15.1	18.6	15.6	19.6	24.9
地域の文化や自然が保存・継承される	13.5	14.1	11.4	14.1	15.4	20.9	27.7
地域の文化や自然に悪影響が出る	15.3	13.8	18.1	16.8	18.9	10.8	8.2
誇りにつながる	18.9	15.9	12.0	14.1	10.4	12.4	16.7
街並みや景観が損なわれる	12.3	12.3	13.9	14.4	11.1	10.1	6.9
給料が増える	11.5	11.7	12.2	12.5	7.2	4.8	4.5
その他	0.7	0.2	2.5	1.5	0.6	1.1	2.6
特に影響はない	12.8	9.1	8.6	5.9	7.3	13.3	14.6
無回答	0.0	0.9	0.0	0.2	1.1	0.1	1.1

図表 5-1-5 観光客が訪れることによる影響（観光客と接する機会別）【複数回答】

	(%)		
	日常業務の一環	日常生活のコミュニケーション	機会なし
混雑により、交通が不便になる	43.2	55.0	49.6
地域産業が発展する	47.8	51.8	41.9
人的・文化的交流が促進される	32.4	42.6	26.8
インフラ（道路、施設等）が整備される	27.2	36.1	28.8
騒音やゴミの増加等により、生活環境が悪化する	27.5	28.2	25.3
仕事が増える	55.4	24.1	11.9
コンビニやスーパーが混雑し買物に支障がでる	23.0	20.0	20.6
治安が悪化する	17.8	19.5	19.4
物価が上昇する	20.7	21.4	16.0
地域住民が活躍する場が増加する	20.8	21.7	15.2
地域の文化や自然が保存・継承される	10.1	22.6	15.3
地域の文化や自然に悪影響が出る	15.2	15.4	14.5
誇りにつながる	11.3	17.8	13.0
街並みや景観が損なわれる	10.8	14.6	11.2
給料が増える	29.7	9.2	4.6
その他	1.5	0.8	1.2
特に影響はない	4.0	5.4	12.5
無回答	0.0	0.0	0.1

図表 5-1-6 観光客が訪れることによる影響（観光発展への期待別）【複数回答】

	(%)		
	観光発展を期待する派	どちらともいえない	観光発展を期待しない派
混雑により、交通が不便になる	47.3	54.9	66.9
地域産業が発展する	51.2	26.4	16.7
人的・文化的交流が促進される	35.4	17.7	12.4
インフラ（道路、施設等）が整備される	33.8	19.2	15.3
騒音やゴミの増加等により、生活環境が悪化する	23.8	32.6	43.4
仕事が増える	23.6	13.6	11.9
コンビニやスーパーが混雑し買物に支障がでる	18.9	26.0	32.6
治安が悪化する	16.4	26.7	34.9
物価が上昇する	15.6	22.8	35.0
地域住民が活躍する場が増加する	20.6	6.3	8.5
地域の文化や自然が保存・継承される	18.6	8.1	4.7
地域の文化や自然に悪影響が出る	12.8	20.9	31.2
誇りにつながる	16.1	5.4	4.8
街並みや景観が損なわれる	9.6	19.4	23.1
給料が増える	10.8	5.6	3.0
その他	0.9	1.4	5.2
特に影響はない	8.5	14.2	9.8
無回答	0.3	0.7	0.0

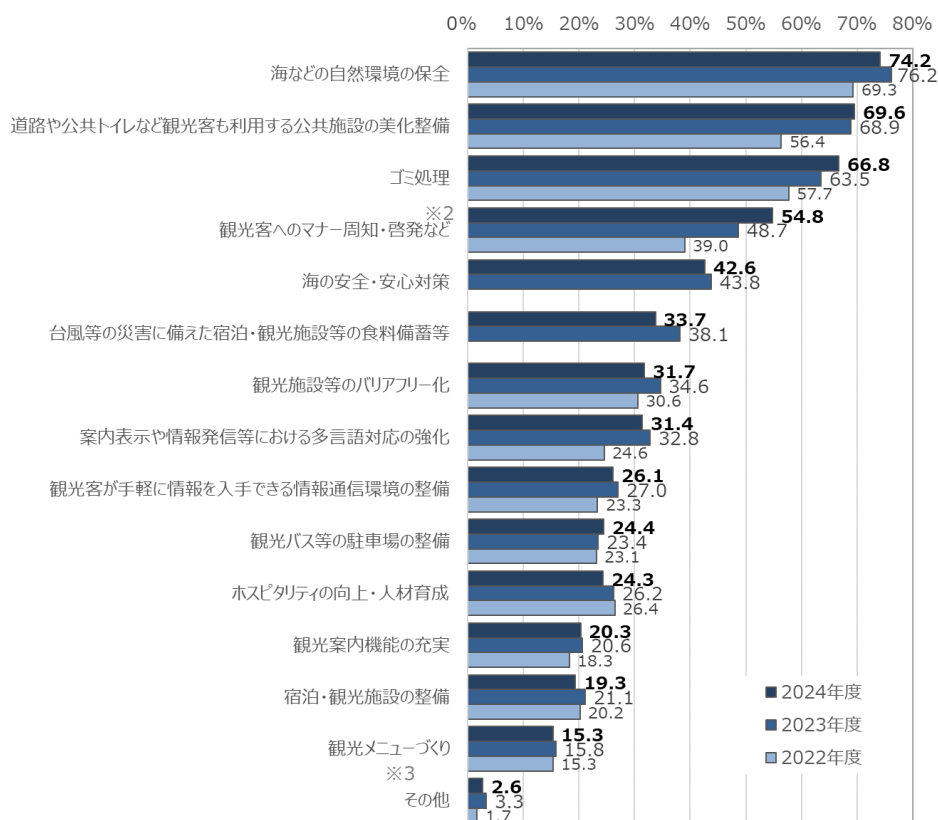
6. 観光税の導入に対する意識

(1) 観光税を導入した場合の活用方法

Q14 沖縄県では観光を振興するため観光目的税の導入を検討していますが、導入した場合どのような目的に活用した方が良いと思いますか。

- 観光税の活用方法としては前回調査に引き続き「海などの自然環境の保全」が74.2%と最も多かった。次いで「道路や公共トイレなど観光客も利用する公共施設の美化整備」69.6%、「ゴミ処理」66.8%と続く。自然環境保全や環境美化への活用が多く望まれている。いずれも前回調査と比べて増加している。
- 地域別でみると、地域間で順位に大きな差はみられない。
- 性別でみると、順位に大きな差はみられないが、「観光施設等のバリアフリー化」、「案内表示や情報発信等における多言語対応の強化」、「道路や公共トイレなど観光客も利用する公共施設の美化整備」等は“女性”の選択率が高い傾向にある。
- 年代別でみると、全体的に年代が上昇するにつれて選択率がやや高くなる傾向にある。
- 観光発展への期待別でみると、多くの項目で“観光発展を期待する派”の選択率が高い傾向にある。

図表 6-1-1 観光税を導入した場合の活用方法【複数回答】



※1：一部の選択肢は2023年度調査で新設されたものであるため、2022年度の結果が表示されていない。

※2：2022年度までの調査票では「観光パトロール」と表現されていた。

※3：「その他」の自由記述で挙げられた内容：交通インフラ整備／県民や観光業従事者への還元／キャッシュレス化 など

図表 6-1-2 観光税を導入した場合の活用方法（地域別）【複数回答】

	(%)					
	北部	中部	那覇市	南部	宮古	八重山
海などの自然環境の保全	73.0	76.1	74.5	68.9	78.0	74.5
道路や公共トイレなど観光客も利用する公共施設の美化整備	65.9	72.0	67.3	66.8	71.7	74.4
ゴミ処理	67.5	66.3	67.0	63.8	74.7	74.8
観光客へのマナー周知・啓発など	59.9	56.1	53.2	51.5	57.6	50.7
海の安全・安心対策	39.6	44.1	39.8	40.6	53.5	47.4
台風等の災害に備えた宿泊・観光施設等の食料備蓄等	32.3	34.7	33.0	31.5	41.8	32.5
観光施設等のバリアフリー化	35.9	32.9	30.7	30.0	20.6	33.9
案内表示や情報発信等における多言語対応の強化	31.4	31.2	35.0	28.2	27.3	32.2
観光客が手軽に情報を入手できる情報通信環境の整備	27.6	25.7	28.3	26.0	22.8	18.6
観光バス等の駐車場の整備	23.6	23.5	27.2	22.8	25.9	27.5
ホスピタリティの向上・人材育成	23.7	24.9	29.0	20.5	17.9	18.0
観光案内機能の充実	21.8	20.8	21.0	17.9	16.9	21.6
宿泊・観光施設の整備	21.8	19.2	17.8	20.6	17.9	18.3
観光メニューづくり	13.8	15.5	16.9	14.6	12.1	14.7
その他	2.2	2.4	3.2	3.2	0.6	2.4
特になし	1.3	1.3	1.0	0.5	0.6	2.7
無回答	1.3	0.7	0.5	1.3	0.8	1.8

図表 6-1-3 観光税を導入した場合の活用方法（性別）【複数回答】

	(%)	
	男性	女性
海などの自然環境の保全	73.2	75.5
道路や公共トイレなど観光客も利用する公共施設の美化整備	67.4	74.1
ゴミ処理	68.1	65.5
観光客へのマナー周知・啓発など	53.3	56.4
海の安全・安心対策	40.9	44.5
台風等の災害に備えた宿泊・観光施設等の食料備蓄等	32.2	35.2
観光施設等のバリアフリー化	28.0	35.0
案内表示や情報発信等における多言語対応の強化	28.9	34.2
観光客が手軽に情報を入手できる情報通信環境の整備	27.3	25.0
観光バス等の駐車場の整備	26.5	22.6
ホスピタリティの向上・人材育成	25.0	24.0
観光案内機能の充実	21.0	19.9
宿泊・観光施設の整備	19.8	18.9
観光メニューづくり	16.4	14.6
その他	2.9	2.3
特になし	1.7	0.5
無回答	0.9	0.8

図表 6-1-4 観光税を導入した場合の活用方法（年代別）【複数回答】

	(%)						
	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代
海などの自然環境の保全	71.5	67.5	71.0	72.3	79.9	80.0	74.7
道路や公共トイレなど観光客も利用する公共施設の美化整備	57.3	61.6	70.8	65.7	73.1	77.2	78.0
ゴミ処理	65.1	60.6	64.3	65.5	71.8	75.4	58.9
観光客へのマナー周知・啓発など	50.9	48.3	54.1	57.5	55.2	60.7	52.6
海の安全・安心対策	31.6	38.6	44.5	40.5	41.8	48.1	51.8
台風等の災害に備えた宿泊・観光施設等の食料備蓄等	23.8	28.6	30.4	27.7	38.1	45.0	40.4
観光施設等のバリアフリー化	25.7	27.8	30.5	32.4	33.6	37.5	29.8
案内表示や情報発信等における多言語対応の強化	19.3	26.1	29.4	25.4	34.3	40.3	45.2
観光客が手軽に情報を入手できる情報通信環境の整備	15.0	23.0	24.9	22.0	26.7	36.0	32.9
観光バス等の駐車場の整備	22.2	20.6	25.0	23.3	25.1	26.7	28.5
ホスピタリティの向上・人材育成	19.2	21.1	24.1	22.2	25.2	29.7	27.6
観光案内機能の充実	11.5	17.6	18.9	15.0	19.0	31.6	28.0
宿泊・観光施設の整備	21.3	21.6	17.6	19.5	18.4	20.1	16.8
観光メニューづくり	14.2	13.0	15.8	13.7	16.1	18.3	15.4
その他	0.9	3.8	3.2	4.0	2.3	1.6	0.8
特になし	1.3	2.0	0.7	1.4	0.4	0.7	2.1
無回答	0.9	1.5	0.4	0.2	0.7	0.5	3.1

図表 6-1-5 観光税を導入した場合の活用方法（観光客と接する機会別）【複数回答】

	(%)		
	日常業務の一環	日常生活のコミュニケーション	機会なし
海などの自然環境の保全	75.8	76.9	72.7
道路や公共トイレなど観光客も利用する公共施設の美化整備	68.4	70.6	69.4
ゴミ処理	67.3	65.4	67.0
観光客へのマナー周知・啓発など	57.8	52.9	54.9
海の安全・安心対策	44.8	40.9	42.3
台風等の災害に備えた宿泊・観光施設等の食料備蓄等	33.3	34.7	33.0
観光施設等のバリアフリー化	35.6	33.0	30.1
案内表示や情報発信等における多言語対応の強化	35.7	30.7	30.5
観光客が手軽に情報を入手できる情報通信環境の整備	24.7	28.3	25.6
観光バス等の駐車場の整備	23.6	26.4	24.0
ホスピタリティの向上・人材育成	26.6	26.6	22.8
観光案内機能の充実	22.2	20.9	19.3
宿泊・観光施設の整備	20.5	22.6	17.7
観光メニューづくり	18.4	18.7	13.5
その他	3.3	2.5	2.3
特になし	0.5	1.2	1.2
無回答	1.6	0.6	0.5

図表 6-1-6 観光税を導入した場合の活用方法（観光発展への期待別）【複数回答】

	(%)		
	観光発展を期待する派	どちらともいえない	観光発展を期待しない派
海などの自然環境の保全	76.7	70.1	59.8
道路や公共トイレなど観光客も利用する公共施設の美化整備	72.8	64.2	48.0
ゴミ処理	68.5	65.1	55.9
観光客へのマナー周知・啓発など	54.6	56.9	53.4
海の安全・安心対策	44.6	38.0	31.5
台風等の災害に備えた宿泊・観光施設等の食料備蓄等	36.6	26.1	23.9
観光施設等のバリアフリー化	34.9	23.6	18.5
案内表示や情報発信等における多言語対応の強化	34.9	22.5	14.9
観光客が手軽に情報を入手できる情報通信環境の整備	29.2	17.4	15.8
観光バス等の駐車場の整備	26.3	19.6	17.4
ホスピタリティの向上・人材育成	26.3	19.3	15.2
観光案内機能の充実	23.1	11.3	12.8
宿泊・観光施設の整備	21.7	11.7	13.8
観光メニューづくり	17.6	8.2	7.4
その他	2.5	2.0	6.0
特になし	0.4	2.9	6.1
無回答	0.4	0.0	1.3

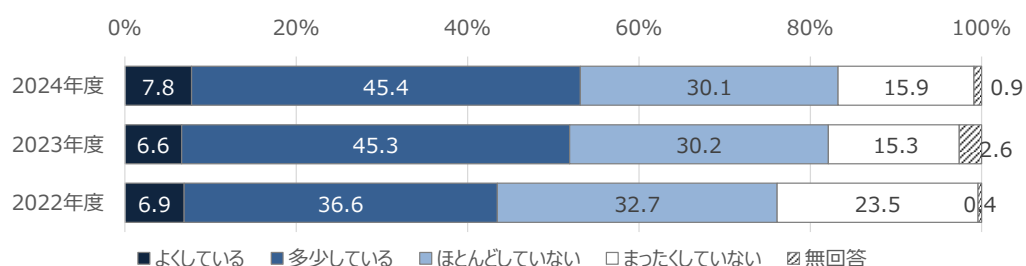
7. 持続可能な観光に対する意識

(1) 持続可能な観光の推進に関わる自身の活動

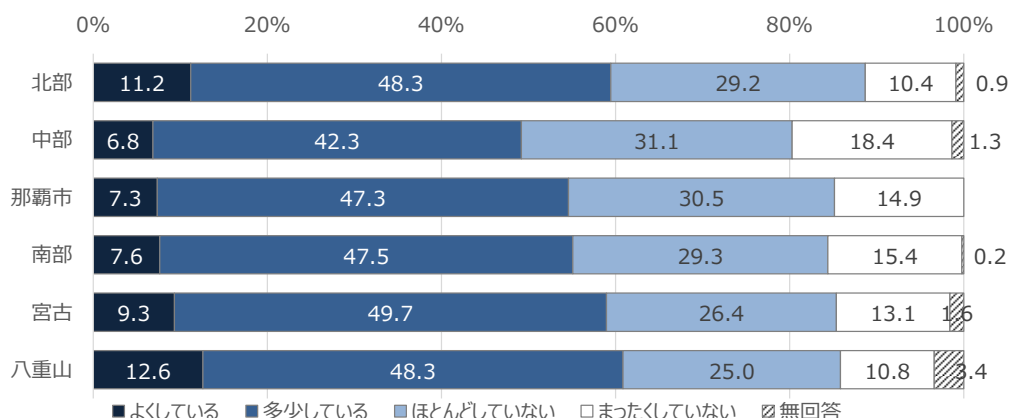
Q15 沖縄県では、観光を通じて自然や生物の保全、地域文化の保存・継承、地域経済への貢献をバランスよく実現する「持続可能な観光」を推進しています。あなたは、こうした「持続可能な観光」の推進に関わるような活動をしていますか。

- 回答者自身の「持続可能な観光」の推進に関わるような活動については、「よくしている」「多少している」を合わせて 53.2%が活動していると回答した。前回の調査からは 1.3 ポイントの増加となった。
- 地域別でみると、“八重山”では、「よくしている」「多少している」を合わせて 60.9%、“北部”では同 59.5%と、他の地域より高い。
- 性別でみると、“女性”の方が活動をしている傾向にある。
- 年代別でみると、“10代”と“70代”で活動をしている比率が高い傾向にある。
- 観光客と接する機会別でみると、“日常業務の一環”、“日常生活のコミュニケーション”で接する人は“機会なし”の人よりも活動をしている比率が高い。

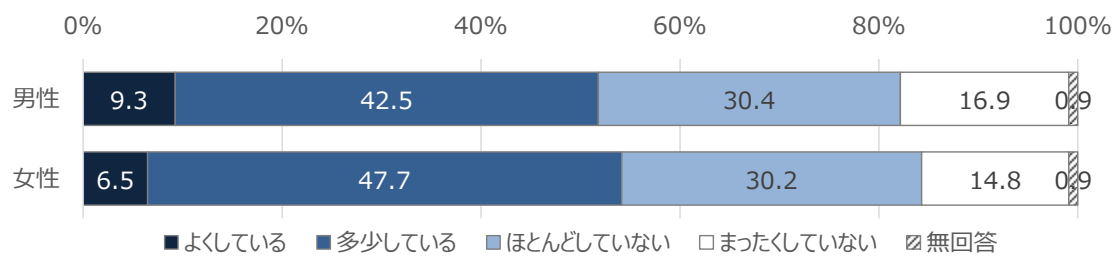
図表 7-1-1 持続可能な観光の推進に関わるような活動をしているか



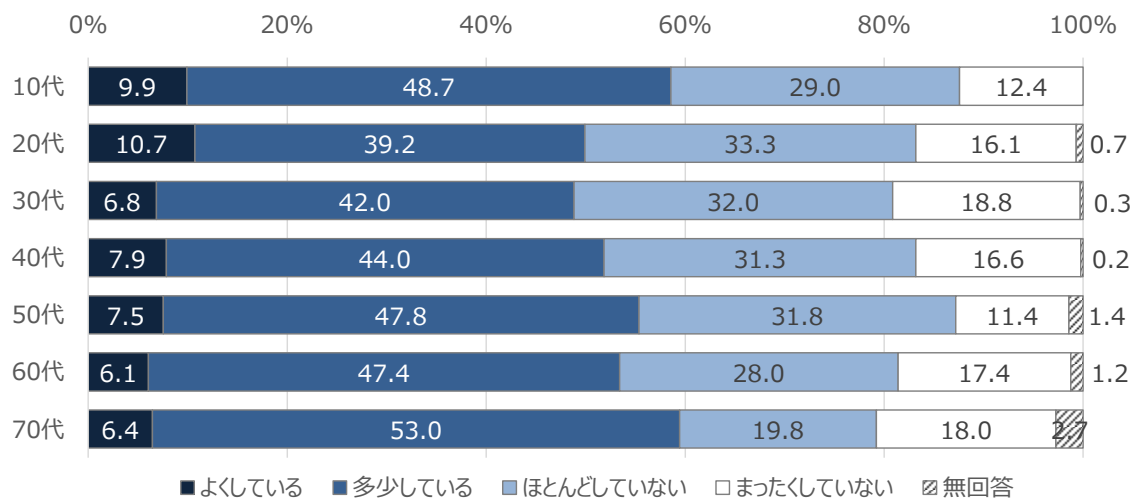
図表 7-1-2 持続可能な観光の推進に関わるような活動をしているか（地域別）



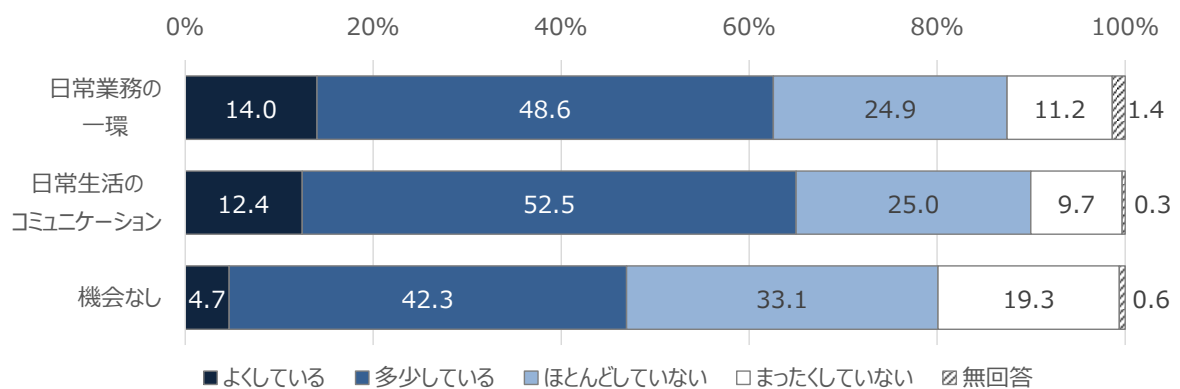
図表 7-1-3 持続可能な観光の推進に関わるような活動をしているか（性別）



図表 7-1-4 持続可能な観光の推進に関わるような活動をしているか（年代別）



図表 7-1-5 持続可能な観光の推進に関わるような活動をしているか（観光客と接する機会別）

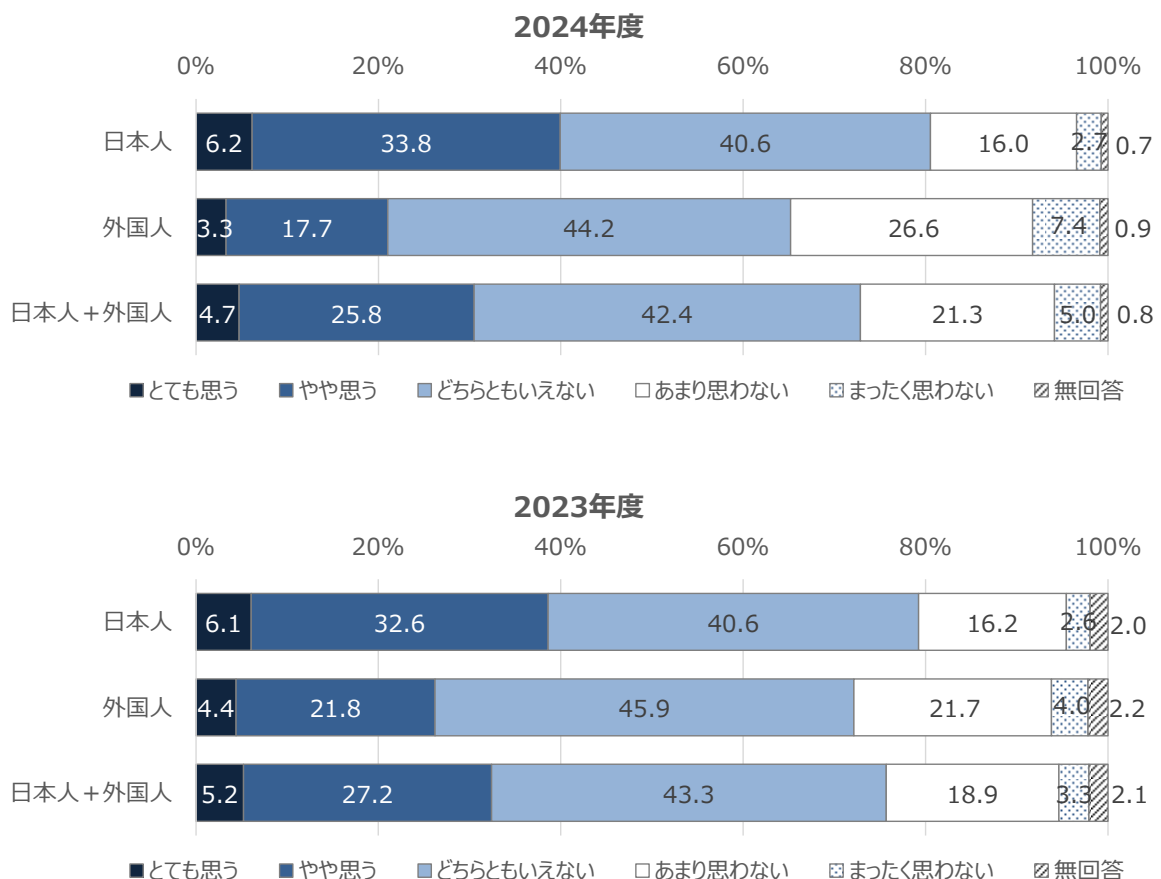


(2) 観光客の行動に対する評価

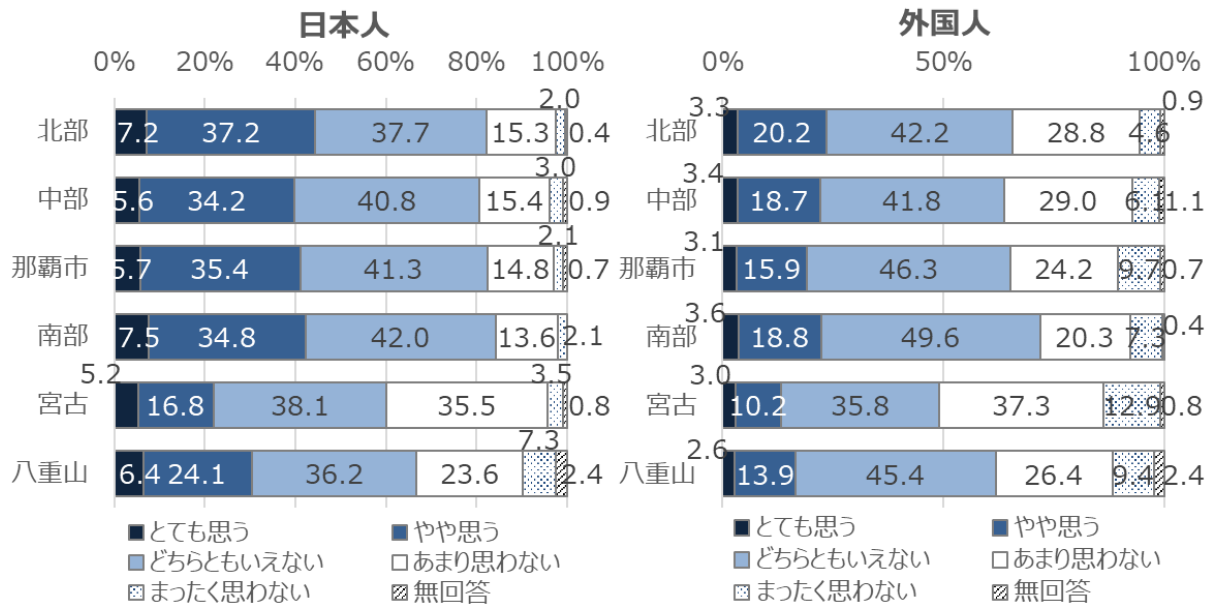
Q16 沖縄県を訪れる観光客は、地域の人々の生活を尊重し、沖縄の自然や文化に敬意を有した旅行者としての行動ができていますか。

- 沖縄県を訪れる日本人観光客と外国人観光客について、地域の人々の生活を尊重し、沖縄の自然や文化に敬意を有した旅行者としての行動が出来ていると思うか尋ねたところ、「とても思う」「やや思う」を合わせると、日本人に対しては40.0%、外国人に対しては21.0%が行動できていると評価している。また、日本人と外国人を合算すると30.5%が行動できていると評価しており、前回の調査からは1.9ポイントの減少となった。
- 地域別でみると、日本人の行動、外国人の行動ともに“宮古”における評価が低い。
- 性別でみると、外国人の行動については“女性”の評価がやや低い。
- 年代別でみると、日本人に対しては、“40代”までは年代が上昇するにつれて評価が低くなる傾向にある。一方、外国人に対しては、全体的に年代が上昇するにつれて評価が低くなる傾向にある。
- 観光客と接する機会別でみると、接する“機会なし”の人は外国人の行動に対する評価が低い。

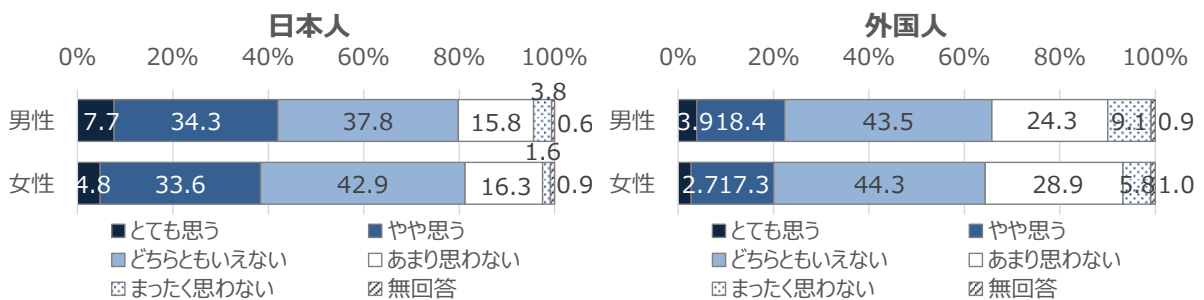
図表 7-2-1 観光客は地域の人々の生活を尊重し、沖縄の自然や文化に敬意を有した旅行者としての行動ができていますか



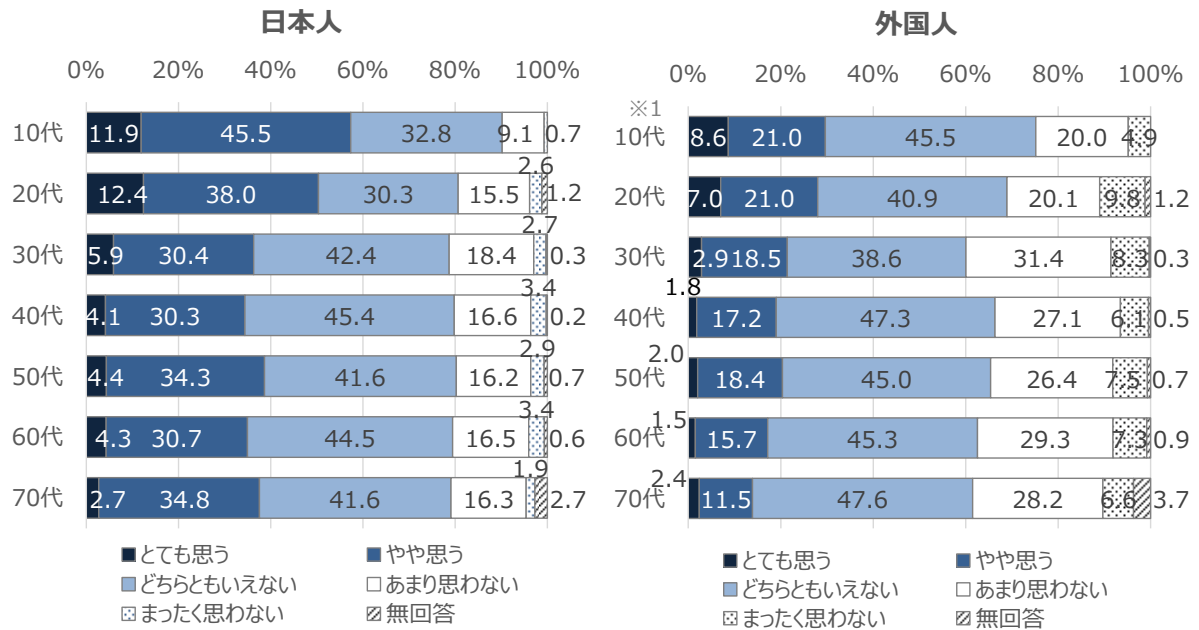
図表 7-2-2 観光客は地域の人々の生活を尊重し、沖縄の自然や文化に敬意を有した旅行者としての行動ができているか（地域別）



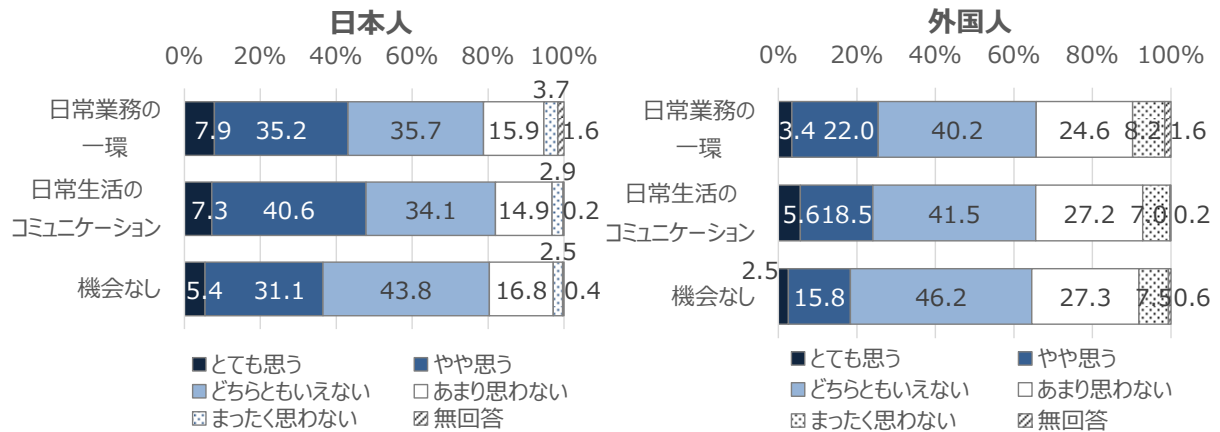
図表 7-2-3 観光客は地域の人々の生活を尊重し、沖縄の自然や文化に敬意を有した旅行者としての行動ができているか（性別）



図表 7-2-4 観光客は地域の人々の生活を尊重し、沖縄の自然や文化に敬意を有した旅行者としての行動ができているか（年代別）



図表 7-2-5 観光客は地域の人々の生活を尊重し、沖縄の自然や文化に敬意を有した旅行者としての行動ができているか（観光客と接する機会別）

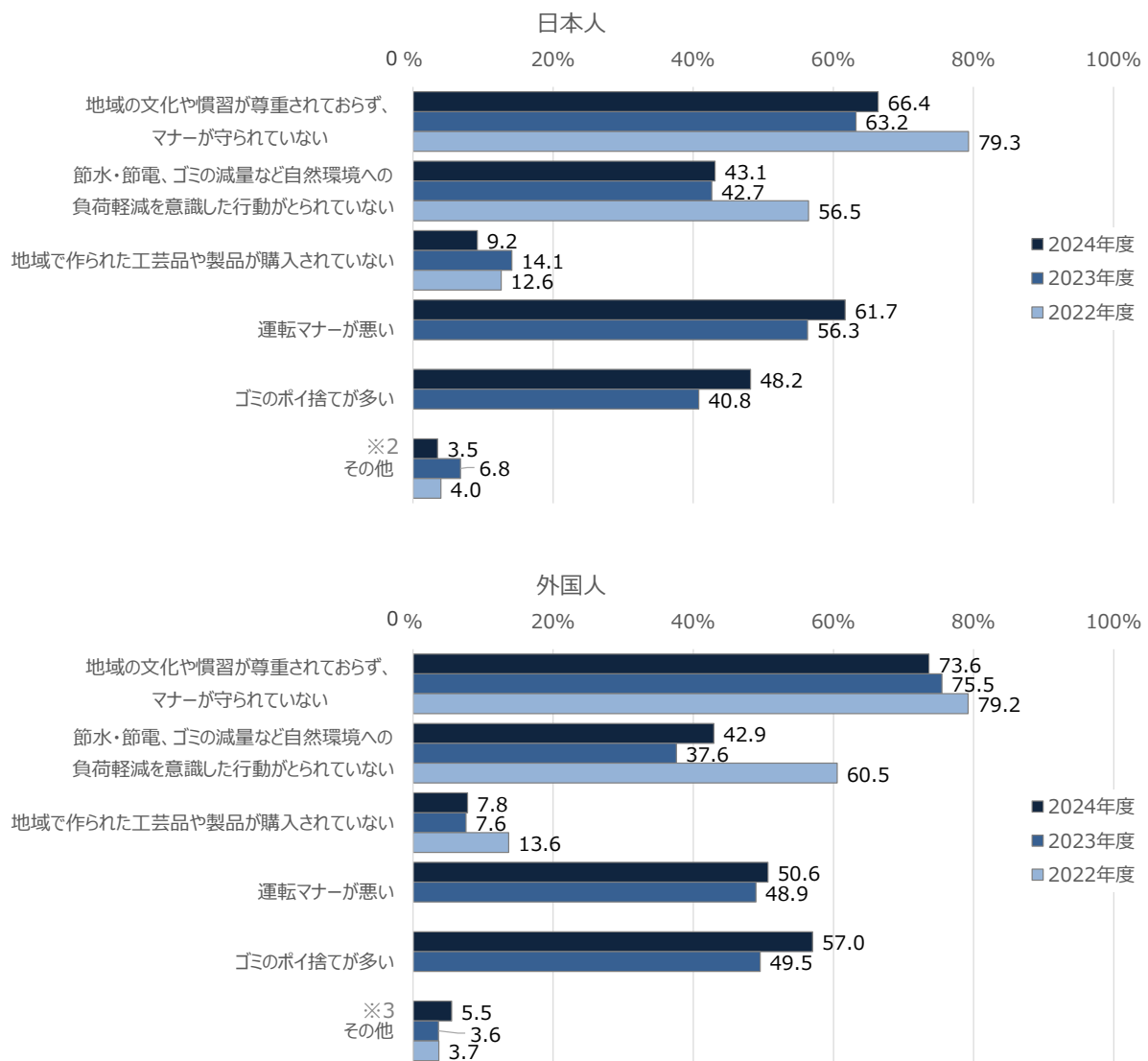


(3) 観光客の行動に対する評価の理由

Q17 観光客の行動に対する評価が低い理由としてあてはまるものをお選びください。

- 観光客の行動に対する評価が低い（「あまり思わない」「まったく思わない」と回答）人に対してはその理由も尋ねた。日本人、外国人いずれに対しても、「地域の文化や慣習が尊重されておらず、マナーが守られていない」が最も高い。次いで、日本人に対しては「運転マナーが悪い」が高く、外国人に対しては「ゴミのポイ捨てが多い」と「運転マナーが悪い」が高い。

図表 7-3-1 （観光客の行動に対する評価が低い）理由としてあてはまるもの



※1：一部の選択肢は 2023 年度調査で新設されたものであるため、2022 年度以前の結果が表示されていない。

※2：「その他」の自由記述で挙げられた内容：路上喫煙が多い など

※3：「その他」の自由記述で挙げられた内容：大声で話すなどの騒音問題／トイレの使い方が悪い など

8. 将来の沖縄観光のあり方や観光行政に関する意見

Q18 将来の沖縄観光のあり方や、沖縄県の観光行政について、ご意見・ご要望がございましたらご自由にお書きください。

- 「交通」に関する意見が 31.4%と最も多かった。特に「交通の便・公共交通」「渋滞・混雑」への不満・改善策を望む声が多く寄せられた。次いで「観光開発、施設・インフラ整備」、「自然・環境保全、活用」、「県民生活とのバランス、配慮」、「観光客のマナー」と続く。

図表 8-1-1 将来の沖縄観光のあり方や観光行政に関する意見【自由回答を分類】

	全体	北部	中部	那覇市	南部	宮古	八重山
交通	31.4	27.2	34.0	33.2	28.1	22.4	17.7
交通の便・公共交通	20.2	17.1	22.6	22.4	16.7	5.7	10.0
渋滞・混雑	13.7	17.3	15.1	13.6	12.1	6.2	1.7
モノレール	6.0	3.0	6.5	9.4	3.5	0.0	0.0
レンタカー	5.7	1.0	5.0	7.4	6.6	8.2	5.3
バス	5.4	1.1	5.9	7.6	4.5	0.0	1.7
ルール・マナー、事故対策	5.1	3.3	3.9	4.5	8.3	12.4	7.6
道路の雑草・ゴミ対策	2.5	3.7	2.5	1.8	2.9	1.7	3.5
モノレール延伸・鉄軌道新設	2.2	3.0	3.4	2.0	0.0	0.0	0.0
空港の駐車場不足	1.6	0.0	2.3	1.6	0.7	0.0	0.0
観光開発、施設・インフラ整備	20.2	16.6	24.2	18.7	16.8	11.6	10.9
自然・環境保全、活用	13.3	21.8	12.7	10.9	12.8	15.0	19.7
県民生活とのバランス、配慮	11.5	12.0	11.3	11.1	8.1	24.4	19.9
観光客のマナー	10.8	9.2	8.7	11.8	14.9	16.8	9.0
観光により経済発展・県民所得向上	9.6	14.3	7.6	14.6	6.0	11.6	0.0
人材育成・県民教育（語学力向上含む）	9.0	5.0	7.6	11.3	13.2	1.7	4.5
環境美化・ゴミ処理	6.8	4.2	5.2	9.3	6.8	9.7	11.5
文化の継承・保全、活用	6.8	3.8	7.7	5.9	5.5	9.5	11.6
PR情報発信	6.7	7.9	5.8	5.8	9.5	8.4	8.6
観光産業の待遇改善	5.4	1.1	4.0	8.5	6.3	11.0	0.0
オーバーツーリズム	5.1	6.3	3.9	7.7	2.3	7.6	9.5
開発の抑制、観光客の抑制	4.7	6.4	3.9	5.2	3.3	11.6	8.5
良好な景観	4.2	3.8	4.6	3.8	2.0	9.3	7.9
コンテンツ、メニュー、商品開発	4.1	1.4	3.8	4.4	6.8	0.0	3.6
ありのままの沖縄の良さの認識・広める	3.7	6.5	3.4	2.3	5.7	4.1	2.1
観光発展の重要性	3.7	5.2	3.9	3.9	0.9	5.7	8.5
受け入れ側の意識、マナー、行動	3.6	2.7	2.7	4.4	4.3	2.1	8.0
受入体制・受入環境の整備	3.5	3.8	3.1	5.6	1.4	1.7	5.4
多言語対応	3.5	2.4	3.7	3.4	3.5	3.3	2.0
観光への依存・観光以外の産業振興	3.1	1.5	2.4	3.9	4.3	3.6	3.7
県内企業を優先すべき・県外企業が多い	2.8	1.4	1.8	6.5	0.0	3.5	3.5
県民が楽しめる観光	2.6	0.0	3.8	3.5	0.0	1.6	0.0
治安、安心・安全	2.4	1.0	2.5	2.6	2.3	2.0	1.7
財源の確保、観光税の導入	2.2	3.8	2.3	1.5	2.0	1.9	3.6
地産地消、域内消費拡大	2.0	2.8	1.6	1.6	3.8	1.7	0.0
決済環境	2.0	1.0	2.1	2.2	2.1	0.0	2.2
おもてなし	1.9	2.5	2.0	1.4	1.4	0.0	6.0
閑散期対策	1.5	1.1	1.6	1.3	2.1	0.0	2.0
案内板・案内	1.5	0.0	1.8	1.0	2.0	1.7	2.2
富裕層・高所得者層の誘客	1.5	3.7	0.4	3.0	0.7	2.2	1.9
地価・家賃	1.4	3.0	0.9	1.1	1.7	3.9	3.5
観光客の分散、特定層の誘客	1.4	0.0	1.1	2.6	0.7	2.2	1.9
商業施設や飲食施設等の混雑緩和	1.4	0.0	0.9	2.1	0.0	4.9	8.3
事業者支援	1.2	1.6	0.3	2.6	0.6	3.6	0.0
スポーツ	1.2	3.9	0.9	1.0	1.5	0.0	0.0
イベント	1.1	1.5	0.9	1.0	2.2	0.0	0.0
観光以外の施策（子育て、教育等）	1.0	0.0	1.5	0.0	1.7	0.0	2.4
持続可能な観光	1.0	0.0	0.6	2.0	1.6	0.0	0.0
その他	15.3	8.7	15.4	15.5	15.9	14.6	27.9

Ⅲ 資料編

・調査票

・クロス集計表



沖縄観光についてのアンケート

日頃より、県政の推進にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。
沖縄県では、令和4年7月に「第6次沖縄県観光振興基本計画」を策定し、“世界から選ばれる持続可能な観光地”の実現に向けた取組を進めています。
今後、さらなる観光振興を推進するにあたり、県民の皆様の沖縄観光に関するお考えやご意見をうかがいたいと考えております。
つきましては、ご多忙中に恐れ入りますが、アンケートにご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。
なお、ご回答いただいた内容は統計的に処理いたしますので、個別に利用されることや特定されることはございません。

沖縄県文化観光スポーツ部観光政策課

調査委託先：公益財団法人日本交通公社・株式会社サーベイリサーチセンター
調査の間合せ：株式会社サーベイリサーチセンター 担当：〇〇〇 TEL XXX-XXX-XXX

■回答方法

下記①～②いずれかの方法でご返信ください。

①返信用封筒

同封の封筒にてご投函下さい。封筒には、お名前の記入・切手は不要です。

②インターネット/スマートフォン

インターネット上でも本アンケートにご回答いただけます。

下記アドレスにアクセスし、IDとパスワードを入力後、ログインしてください。

IDとPWを再入力することで回答の途中でも保存ができます。

【 <https://xxxxx.xx.xx/xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx> 】

ID 番号	
パスワード	

QR コード

※QR コードからもアンケートページにアクセスできます。

■回答締切

令和●年●月●日（●）までにポストに投函・ご回答をお願いします。

■謝礼

回答者全員にQUOカード1000円分またはお米券1000円分を謝礼としてお送りします。

謝礼をご希望の方は、調査票最後の「謝礼」申込欄にチェック☑をお願いいたします。

なお、未回答が複数ある場合や謝礼のチェックのみの回答、締切を過ぎてからの投函・回答は無効となり、謝礼の対象となりませんので、ご留意願います。

謝礼の発送は令和●年●月頃を予定しております。謝礼の発送をもって有効な回答とさせていただきます。

最初に、あなたご自身のことについて教えてください。

F1 あなたがお住いの市町村をお選びください。(○は1つ)

1.那覇市 2.宜野湾市 3.石垣市 4.浦添市 5.名護市 6.糸満市 7.沖縄市 8.豊見城市 9.うるま市
10.宮古島市 11.南城市 12.国頭村 13.大宜味村 14.東村 15.今帰仁村 16.本部町 17.恩納村
18.宜野座村 19.金武町 20.伊江村 21.読谷村 22.嘉手納町 23.北谷町 24.北中城村 25.中城村
26.西原町 27.与那原町 28.南風原町 29.渡嘉敷村 30.座間味村 31.粟国村 32.渡名喜村 33.南大東村
34.北大東村 35.伊平屋村 36.伊是名村 37.久米島町 38.八重瀬町 39.多良間村 40.竹富町
41.与那国町

F2 性別をお教えてください。(○は1つ)

1.男性 2.女性 3.回答しない

F3 年齢をお教えてください。(○は1つ)

1.15～19歳 2.20～24歳 3.25～29歳 4.30～34歳 5.35～39歳 6.40～44歳
7.45～49歳 8.50～54歳 9.55～59歳 10.60～64歳 11.65～69歳 12.70～74歳

F4 あなたの世帯の家族構成は次のうちどれですか。(○は1つ)

1.単身 2.夫婦のみ 3.二世帯(親と子) 4.三世帯(親と子と孫) 5.その他()

F5 お子様(同居・別居問わず)はいらっしゃいますか。

1.いる(a～eの当てはまるものを全てに○) 2.いない
→ a.社会人 b.高校生・大学生(短大・専門学校等含む) c.中学生 d.小学生 e.就学前

F6 あなたの主たる職業・業種は次のどれにあたりますか。(○は1つ) ※兼業の方は収入の多い方でお答えください

1.宿泊 6.運輸(貨物) 11.不動産 16.農林水産畜産業 21.専業主婦・主夫
2.飲食サービス 7.小売 12.広告出版/印刷 17.土木建設 22.無職・定年退職
3.旅行・レジャー 8.卸売 13.IT・情報通信 18.製造 23.学生
4.土産品製造・販売 9.医療・福祉 14.教育 19.電気ガス水道 24.その他
5.運輸(旅客) 10.金融・保険 15.その他サービス 20.公務・行政 ()

F7 現在お勤めの職業について、やりがいを感じ満足していますか。(○は1つ)

1.とても満足している 2.やや満足している 3.どちらともいえない 4.あまり満足していない
5.まったく満足していない

F8 あなたが沖縄県にお住まいになるきっかけは何ですか。(○は1つ)

1.生まれた場所だから 2.ご自身やご家族の仕事のため 3.結婚のため
4.どうしても沖縄県に住みたかった 5.その他()

(→次ページへ続く)

沖縄の観光に関するお考え等を教えてください。

Q1 あなたがお住まいの地域で観光客を見かけたことがありましたか。(○は、それぞれ1つ)

①日本人観光客	1.よく見かける	2.ときどき見かける	3.あまり見かけない	4.まったく見かけない
②外国人観光客	1.よく見かける	2.ときどき見かける	3.あまり見かけない	4.まったく見かけない

Q2 あなたは、沖縄県内で観光客と接する機会がありますか。(○は1つ)

1.日常業務の一環で接している	3.観光客・来訪客と接する機会はない
2.日常生活におけるコミュニケーション(道案内、挨拶、観光スポット等)	4.その他()

Q3 観光客が訪れることで、あなたの生活にどのような影響があると感じていますか。当てはまるものを全て選んでください。(○は、いくつでも)

1.給料が増える	10.街並みや景観が損なわれる
2.仕事が増える	11.地域の文化や自然に悪影響が出る
3.インフラ(道路、施設等)が整備される	12.物価が上昇する
4.地域の文化や自然が保存・継承される	13.治安が悪化する
5.地域産業が発展する	14.騒音やゴミの増加等により、生活環境が悪化する
6.地域住民が活躍する場が増加する	15.コンビニやスーパーが混雑し買物に支障がでる
7.人的・文化的交流が促進される	16.特に影響はない
8.誇りにつながる	17.その他()
9.混雑により、交通が不便になる	

(→次ページへ続く)